

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-01
授業科目	一般常識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識と実技スキルの定着を図る
達成目標	ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句など理解する
教科書	一般財団法人日本ビジネス技能検定協会 漢字能力検定試験対策問題集2級
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 (1) 訓読み・送り仮名 (2) 2 訓読み・送り仮名 (3) 訓読み・送り仮名 (4) 3 まとめ小テスト 訓読み・送り仮名 (5) 4 訓読み・送り仮名 (6) 訓読み・送り仮名 (7) 5 訓読み・送り仮名 (8) まとめ小テスト 6 訓読み・送り仮名 (9) 訓読み・送り仮名 (10) 7 訓読み・送り仮名 (11) 訓読み・送り仮名 (12) 8 まとめ小テスト 熟語 (1) 9 熟語 (2) 熟語 (3) 10 熟語 (4) まとめ小テスト 11 熟語 (5) 熟語 (6) 12 熟語 (7) 熟語 (8) 13 まとめ小テスト 熟語 (9) 14 熟語 (10) 熟語 (11) 15 熟語 (12) まとめ小テスト 16 熟語 (13) 熟語 (14) 17 熟語 (15) 熟語 (16) 18 まとめ小テスト 熟語 (17) 19 熟語 (18) 熟語 (19) 20 まとめ小テスト 異字同訓 (1) 21 異字同訓 (2) 異字同訓 (3) 22 異字同訓 (4) まとめ小テスト 23 異字同訓 (5) 同音異義 (6) 24 同音異義 (7) 同音異義 (8) 25 同音異義 (9) まとめ小テスト 26 誤字訂正 (1) 誤字訂正 (2) 27 誤字訂正 (3) 誤字訂正 (4) 28 まとめ小テスト 誤字訂正 (5) 29 誤字訂正 (6) 誤字訂正 (7) 30 誤字訂正 (8) 誤字訂正 (9) 31 まとめ小テスト 類義語 (1) 32 類義語 (2) 類義語 (3) 33 まとめ小テスト 反対語 (1) 34 反対語 (2) 反対語 (3) 35 反対語 (4) まとめ小テスト 36 反対語 (5) 反対語 (6) 37 反対語 (7) 反対語 (8)

	38	まとめ小テスト 項目別模擬試験（1）
	39	項目別模擬試験（2） 項目別模擬試験（3）
	40	項目別模擬試験（4） 項目別模擬試験（5）
	41	直前模擬試験（1） 直前模擬試験（2）
	42	直前模擬試験（3） 直前模擬試験（4）
	43	直前模擬試験（5） 直前模擬試験（6）
	44	直前模擬試験（7） 直前模擬試験（8）
	45	直前模擬試験（9） 直前模擬試験（10）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-02
授業科目	コンピュータ基礎知識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータ内部の論理演算・動作について基本情報技術者試験の午前試験範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	コンピュータ内部の論理演算・動作について基本情報技術者試験の午前試験範囲を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 デジタル化とネットワークがもたらす社会 2 マルチメディアの特徴 3 デジタル端末 4 コンテンツ制作のためのメディア処理 5 インターネットと通信 6 インターネットで提供されるサービス 7 インターネットビジネス 8 デジタルとネットワークで進化するライフスタイル 9 社会に広がるマルチメディア 10 セキュリティと情報リテラシ 11 コンピュータの仕組み 12 コンピュータ5大要素 13 ハードウェアとソフトウェア (1) 14 ハードウェアとソフトウェア (2) 15 ハードウェアとソフトウェア (3) 16 ハードウェアとソフトウェア (4) 17 ハードウェアとソフトウェア (5) 18 ハードウェアとソフトウェア (6) 19 OSとアプリケーション (1) 20 OSとアプリケーション (2) 21 OSとアプリケーション (3) 22 OSとアプリケーション (4) 23 セキュリティ技術 (1) 24 セキュリティ技術 (2) 25 セキュリティ技術 (3) 26 セキュリティ技術 (4) 27 セキュリティ技術 (5) 28 セキュリティ技術 (6) 29 セキュリティ技術 (7) 30 セキュリティ技術 (8) 31 ネットワーク (1) 32 ネットワーク (2) 33 ネットワーク (3) 34 ネットワーク (4) 35 ネットワーク (5) 36 AI活用 (1)

	37 AI活用 (2) 38 AI活用 (3) 39 AI活用 (4) 40 AI活用 (5) 41 データベースとビッグデータ (1) 42 データベースとビッグデータ (2) 43 データベースとビッグデータ (3) 44 データベースとビッグデータ (4) 45 データベースとビッグデータ (5) 46 基礎知識演習と解説 (1) 47 基礎知識演習と解説 (2) 48 基礎知識演習と解説 (3) 49 基礎知識演習と解説 (4) 50 基礎知識演習と解説 (5) 51 基礎知識演習と解説 (6) 52 基礎知識演習と解説 (7) 53 基礎知識演習と解説 (8) 54 基礎知識演習と解説 (9) 55 基礎知識演習と解説 (10) 56 基礎知識演習と解説 (11) 57 基礎知識演習と解説 (12) 58 基礎知識演習と解説 (13) 59 基礎知識演習と解説 (14) 60 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-03
授業科目	情報リテラシーと処理技術
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	OSの基本操作と設定方法、Word, Excelの操作方法の基礎を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	OSの基本操作と設定方法、Word, Excelの操作方法の基礎を修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータの基本操作 2 一般的なビジネス文書の作成 3 シンプルなレポートや報告書の作成 (1) 4 シンプルなレポートや報告書の作成 (2) 5 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) 6 表、画像、図形を使った文書の作成 (2) 7 実技試験 文書作成 8 プレゼンテーションの企画 (1) 9 プレゼンテーションの企画 (2) 10 プレゼンテーションの企画 (3) 11 プレゼンテーションの企画 (4) 12 わかりやすいストーリー構成 (1) 13 わかりやすいストーリー構成 (2) 14 イメージを伝えるイラスト・写真活用 (1) 15 イメージを伝えるイラスト・写真活用 (2) 16 センスアップするレイアウトデザイン (1) 17 センスアップするレイアウトデザイン (2) 18 センスアップするレイアウトデザイン (3) 19 実技試験 プレゼンテーション 20 表作成の基本操作 (1) 21 表作成の基本操作 (2) 22 表作成の基本操作 (3) 23 見やすく使いやすい表にする編集操作 (1) 24 見やすく使いやすい表にする編集操作 (2) 25 数式・関数を活用した集計表の作成 (1) 26 数式・関数を活用した集計表の作成 (2) 27 グラフの基本 (1) 28 グラフの基本 (2) 29 グラフの基本 (3) 30 実技試験 表計算
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-04
授業科目	アプリケーションソフト実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Word・Excelの基本操作を学び、文書作成、表計算の基礎スキルを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	MOS試験合格レベルを目指す
教科書	情報利活用 基本演習 Office 2019対応(日経BP)
特記	
授業計画	1 Word演習 (1) 2 Word演習 (2) 3 Word演習 (3) 4 Word演習 (4) 5 Word演習 (5) 6 Word演習 (6) 7 Word演習 (7) 8 Word演習 (8) 9 Word演習 (9) 10 Word演習 (10) 11 Excel演習 (1) 12 Excel演習 (2) 13 Excel演習 (3) 14 Excel演習 (4) 15 Excel演習 (5) 16 Excel演習 (6) 17 Excel演習 (7) 18 Excel演習 (8) 19 Excel演習 (9) 20 Excel演習 (10) 21 PowerPoint演習 (1) 22 PowerPoint演習 (2) 23 PowerPoint演習 (3) 24 PowerPoint演習 (4) 25 PowerPoint演習 (5) 26 PowerPoint演習 (6) 27 PowerPoint演習 (7) 28 PowerPoint演習 (8) 29 PowerPoint演習 (9) 30 PowerPoint演習 (10)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-05
授業科目	コンピュータ基礎知識 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータ内部の論理演算・動作について概略を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	コンピュータ内部の論理演算・動作について概略を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	情報処理概論終了後に履修する
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 第8章セキュリティ (1) 2 第8章セキュリティ (2) 3 第8章セキュリティ (3) 4 第8章セキュリティ (4) 5 第8章セキュリティ (5) 6 問題演習 (1) 7 第9章システム構成要素 (1) 8 第9章システム構成要素 (2) 9 第10章マルチメディア (1) 10 第10章マルチメディア (2) 11 問題演習 (2) 12 第11章システム開発 (1) 13 第11章システム開発 (2) 14 第11章システム開発 (3) 15 第11章システム開発 (4) 16 第11章システム開発 (5) 17 第11章システム開発 (6) 18 問題演習 (3) 19 第12章マネジメント (1) 20 第12章マネジメント (2) 21 第12章マネジメント (3) 22 第12章マネジメント (4) 23 第12章マネジメント (5) 24 第12章マネジメント (6) 25 問題演習 (4) 26 第13章ストラテジ (1) 27 第13章ストラテジ (2) 28 第13章ストラテジ (3) 29 第13章ストラテジ (4) 30 問題演習 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-06
授業科目	データベース概論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる
教科書	スッキリわかる SQL入門 第2版 (インプレス)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 初めてのSQL 2 基本文法と4大命令 3 操作する行の絞り込み(1) 4 操作する行の絞り込み(2) 5 検索結果の加工 6 式と関数 7 集計とグループ化 8 副問い合わせ 9 複数テーブルの問い合わせ 10 トランザクション 11 テーブルの作成 12 さまざまな支援機能 13 テーブルの設計(1) 14 テーブルの設計(2) 15 データベース演習 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-07
授業科目	アルゴリズム基礎
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	アルゴリズムの流れ図(フローチャート)の考え方・表現方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	アルゴリズムの流れ図(フローチャート)の考え方・表現方法を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 フローチャート 2 変数 3 制御構造(分岐)(1) 4 制御構造(分岐)(2) 5 制御構造(分岐)(3) 6 制御構造(繰り返し)(1) 7 制御構造(繰り返し)(2) 8 一次元配列(1) 9 一次元配列(2) 10 一次元配列(3) 11 二次元配列(1) 12 二次元配列(2) 13 二次元配列(3) 14 二次元配列(4) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後の確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-08
授業科目	情報処理概論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータ基本設計・OS・ネットワーク等、基礎知識全般を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	コンピュータ基本設計・OS・ネットワーク等、基礎知識全般を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 第1章ハードウェア I (1) 2 第1章ハードウェア I (2) 3 問題演習 (1) 4 第2章基礎理論 (1) 5 第2章基礎理論 (2) 6 第2章基礎理論 (3) 7 第2章基礎理論 (4) 8 第2章基礎理論 (5) 9 第2章基礎理論 (6) 10 第2章基礎理論 (7) 11 問題演習 (2) 12 第3章ハードウェア II (1) 13 第3章ハードウェア II (2) 14 第3章ハードウェア II (3) 15 第3章ハードウェア II (4) 16 第3章ハードウェア II (5) 17 問題演習 (3) 18 第4章ソフトウェア (1) 19 第4章ソフトウェア (2) 20 第4章ソフトウェア (3) 21 第4章ソフトウェア (4) 22 第4章ソフトウェア (5) 23 第4章ソフトウェア (6) 24 第4章ソフトウェア (7) 25 問題演習 (4) 26 第5章アルゴリズム (1) 27 第5章アルゴリズム (2) 28 第5章アルゴリズム (3) 29 第5章アルゴリズム (4) 30 問題演習 (5) 31 第6章データベース (1) 32 第6章データベース (2) 33 第6章データベース (3) 34 第6章データベース (4) 35 第6章データベース (5) 36 第6章データベース (6) 37 問題演習 (6) 38 第7章ネットワーク (1)

	39 第7章ネットワーク (2) 40 第7章ネットワーク (3) 41 第7章ネットワーク (4) 42 第7章ネットワーク (5) 43 第7章ネットワーク (6) 44 第7章ネットワーク (7) 45 問題演習 (7)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-09
授業科目	プログラム言語基礎論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラム言語の概念や仕様を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験のCASL IIに回答する知識習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 システムCOMET IIの仕様 2 アセンブラ命令とレジスタ 3 ロードストア 4 演算命令 5 比較と分岐 6 スタックとコール、リターン命令 7 問題演習(1) 8 問題演習(2) 9 問題演習(3) 10 問題演習(4) 11 問題演習(5) 12 問題演習(6) 13 問題演習(7) 14 問題演習(8) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-10
授業科目	時事対策
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	現代社会における主要な時事に関する知識習得を目的とする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現代社会における主要な時事に関する知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 解説(1) 2 解説(2) 確認テスト(1) 3 解説(3) 確認テスト(2) 4 解説(4) 確認テスト(3) 5 解説(5) 確認テスト(4) 6 解説(6) 確認テスト(5) 7 解説(7) 確認テスト(6) 8 解説(8) 確認テスト(7) 9 解説(9) 確認テスト(8) 10 解説(10) 確認テスト(9) 11 解説(11) 確認テスト(10) 12 解説(12) 確認テスト(11) 13 解説(13) 確認テスト(12) 14 解説(14) 確認テスト(13) 15 解説(15) 確認テスト(14)・(15)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-11
授業科目	プレゼンテーション演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	プレゼンテーションの使用場面の事例や効果的な表現方法等を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションの使用場面の事例や効果的な表現方法等を修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーション (1) 2 プレゼンテーション (2) 3 グループディスカッション (1) 4 グループディスカッション (2) 5 発表準備作業1-(1) 6 発表準備作業1-(2) 7 発表準備作業1-(3) 8 発表準備作業1-(4) 9 発表準備作業1-(5) 10 発表準備作業1-(6) 11 発表準備作業1-(7) 12 発表練習 (1) 13 発表練習 (2) 14 発表練習 (3) 15 発表(実技試験)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-12
授業科目	プログラム設計
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラム設計技法について必要な知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	プログラム設計技法について必要な知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 プログラミングパラダイムと設計 2 設計技法UML (1) 3 設計技法UML (2) 4 設計技法UML (3) 5 設計技法UML (4) 6 データベース設計 (1) 7 データベース設計 (2) 8 データベース設計 (3) 9 データベース設計 (4) 10 データベース設計 (5) 11 設計演習 (1) 12 設計演習 (2) 13 設計演習 (3) 14 設計演習 (4) 15 設計演習 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-13
授業科目	ネットワーク基礎知識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	通信ネットワークの基本構成機器とその働きや通信技術を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	通信ネットワークの基本構成機器とその働きや通信技術を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワークの種類と特徴 2 有線LAN 3 無線LAN 4 交換方式 5 回線に関する計算 (キャパシティプランニング) (1) 6 回線に関する計算 (キャパシティプランニング) (2) 7 回線に関する計算 (キャパシティプランニング) (3) 8 インターネット技術 9 インターネットプロトコル (1) 10 インターネットプロトコル (2) 11 インターネットプロトコル (3) 12 ネットワーク管理 (1) 13 ネットワーク管理 (2) 14 ネットワーク管理 (3) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-14
授業科目	基本情報総合
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	システムの仕様に基づき、プログラム設計や開発をするために必要な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	システムの仕様に基づき、プログラム設計や開発をするために必要な知識を理解する
教科書	答案練習問題
特記	
授業計画	1 項目別問題演習 (1) 2 項目別問題演習 (2) 3 項目別問題演習 (3) 4 項目別問題演習 (4) 5 項目別問題演習 (5) 6 項目別問題演習 (6) 7 項目別問題演習 (7) 8 項目別問題演習 (8) 9 項目別問題演習 (9) 10 項目別問題演習 (10) 11 項目別問題演習 (11) 12 項目別問題演習 (12) 13 項目別問題演習 (13) 14 項目別問題演習 (14) 15 項目別問題演習 (15) 16 項目別問題演習 (16) 17 項目別問題演習 (17) 18 項目別問題演習 (18) 19 項目別問題演習 (19) 20 項目別問題演習 (20) 21 項目別問題演習 (21) 22 項目別問題演習 (22) 23 項目別問題演習 (23) 24 項目別問題演習 (24) 25 項目別問題演習 (25) 26 項目別問題演習 (26) 27 項目別問題演習 (27) 28 項目別問題演習 (28) 29 項目別問題演習 (29) 30 項目別問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-15
授業科目	基本情報総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラム設計や開発、運用、保守をするために必要な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	プログラム設計や開発、運用、保守をするために必要な知識を理解する
教科書	オリジナル答案練習問題
特記	
授業計画	1 総合問題演習 (1) 2 総合問題演習 (2) 3 総合問題演習 (3) 4 総合問題演習 (4) 5 総合問題演習 (5) 6 総合問題演習 (6) 7 総合問題演習 (7) 8 総合問題演習 (8) 9 総合問題演習 (9) 10 総合問題演習 (10) 11 総合問題演習 (11) 12 総合問題演習 (12) 13 総合問題演習 (13) 14 総合問題演習 (14) 15 総合問題演習 (15) 16 総合問題演習 (16) 17 総合問題演習 (17) 18 総合問題演習 (18) 19 総合問題演習 (19) 20 総合問題演習 (20) 21 総合問題演習 (21) 22 総合問題演習 (22) 23 総合問題演習 (23) 24 総合問題演習 (24) 25 総合問題演習 (25) 26 総合問題演習 (26) 27 総合問題演習 (27) 28 総合問題演習 (28) 29 総合問題演習 (29) 30 総合問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後の確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-16
授業科目	プログラム実習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	JavaScriptを通してWebプログラミングの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版] (技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 JavaScriptの基礎知識 2 はじめてのプログラム (1) 3 はじめてのプログラム (2) 4 変数と演算について (1) 5 変数と演算について (2) 6 条件分岐 (1) 7 条件分岐 (2) 8 繰り返し (1) 9 繰り返し (2) 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作 (1) 12 オブジェクトの操作 (2) 13 オブジェクトの操作 (3) 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 実技試験 JavaScript (1) 17 Webブラウザのオブジェクト (1) 18 Webブラウザのオブジェクト (2) 19 Webブラウザのオブジェクト (3) 20 デジタル時計の作成 21 イメージを操作する 22 ユーザ定義オブジェクト 23 DOMの操作 (1) 24 DOMの操作 (2) 25 DOMの操作 (3) 26 Ajax (1) 27 Ajax (2) 28 Ajax (3) 29 Ajax (4) 30 実技試験 JavaScript (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-17
授業科目	ITパスポートストラテジ I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	企業活動や経営、システム戦略の基礎的手法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業活動や経営、システム戦略の基礎的手法を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経営・組織論 2 OR・IE 3 会計・財務 4 知的財産権 5 セキュリティ関連法規 6 労働関連・取引関連法規 7 その他の法律・ガイドライン・技術者論理 8 標準化関連 9 経営戦略手法 10 マーケティング 11 ビジネス戦略と目標・評価 12 経営管理システム 13 技術開発戦略の立案・技術開発計画 14 ビジネスシステム 15 エンジニアリングシステム 16 e-ビジネス 17 IoTシステム・組込みシステム 18 情報システム戦略 19 業務プロセス 20 ソリューションビジネス 21 システム活用促進・評価 22 システム化計画 23 要件定義 24 調達計画・実施 25 ストラテジまとめ (1) 26 ストラテジまとめ (2) 27 ストラテジまとめ (3) 28 ストラテジまとめ (4) 29 ストラテジまとめ (5) 30 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-18
授業科目	ITパスポートテクノロジー
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータの構成、ネットワーク、DB、セキュリティ等技術を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	コンピュータの構成、ネットワーク、DB、セキュリティ等技術を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎理論 2 アルゴリズムとプログラミング 3 コンピュータ構成要素 (1) 4 コンピュータ構成要素 (2) 5 システム構成要素 6 ソフトウェア 7 ハードウェア 8 ヒューマンインタフェース 9 マルチメディア 10 データベース 11 ネットワーク 12 セキュリティ 13 テクノロジーまとめ (1) 14 テクノロジーまとめ (2) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-19
授業科目	ITパスポートマネジメント
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	システム開発技術やプロジェクトのマネジメント方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	システム開発技術やプロジェクトのマネジメント方法を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 システム開発技術 2 開発プロセス・手法 (1) 3 開発プロセス・手法 (2) 4 プロジェクトマネジメント (1) 5 プロジェクトマネジメント (2) 6 サービスマネジメント (1) 7 サービスマネジメント (2) 8 サービスサポート (1) 9 サービスサポート (2) 10 ファシリティマネジメント 11 システム監査 12 内部統制 13 マネジメントまとめ (1) 14 マネジメントまとめ (2) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-20
授業科目	ITパスポート総合
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	企業活動と法務や経営戦略、システム戦略の具体的手法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業活動と法務や経営戦略、システム戦略の具体的手法を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ITパスポートストラテジ総合演習 (1) 2 ITパスポートストラテジ総合演習 (2) 3 ITパスポートストラテジ総合演習 (3) 4 ITパスポートストラテジ総合演習 (4) 5 ITパスポートストラテジ総合演習 (5) 6 ITパスポートストラテジ総合演習 (6) 7 ITパスポートストラテジ総合演習 (7) 8 ITパスポートストラテジ総合演習 (8) 9 ITパスポートストラテジ総合演習 (9) 10 ITパスポートストラテジ総合演習 (10) 11 ITパスポートストラテジ総合演習 (11) 12 ITパスポートストラテジ総合演習 (12) 13 ITパスポートストラテジ総合演習 (13) 14 ITパスポートストラテジ総合演習 (14) 15 ITパスポートストラテジ総合演習 (15) 16 ITパスポートストラテジ総合演習 (16) 17 ITパスポートストラテジ総合演習 (17) 18 ITパスポートストラテジ総合演習 (18) 19 ITパスポートストラテジ総合演習 (19) 20 ITパスポートストラテジ総合演習 (20) 21 ITパスポートテクノロジー総合演習 (1) 22 ITパスポートテクノロジー総合演習 (2) 23 ITパスポートテクノロジー総合演習 (3) 24 ITパスポートテクノロジー総合演習 (4) 25 ITパスポートテクノロジー総合演習 (5) 26 ITパスポートテクノロジー総合演習 (6) 27 ITパスポートテクノロジー総合演習 (7) 28 ITパスポートテクノロジー総合演習 (8) 29 ITパスポートテクノロジー総合演習 (9) 30 ITパスポートテクノロジー総合演習 (10) 31 ITパスポートテクノロジー総合演習 (11) 32 ITパスポートテクノロジー総合演習 (12) 33 ITパスポートテクノロジー総合演習 (13) 34 ITパスポートテクノロジー総合演習 (14) 35 ITパスポートテクノロジー総合演習 (15) 36 ITパスポートマネジメント総合演習 (1) 37 ITパスポートマネジメント総合演習 (2) 38 ITパスポートマネジメント総合演習 (3)

	39 ITパスポートマネジメント総合演習 (4) 40 ITパスポートマネジメント総合演習 (5) 41 ITパスポートマネジメント総合演習 (6) 42 ITパスポートマネジメント総合演習 (7) 43 ITパスポートマネジメント総合演習 (8) 44 ITパスポートマネジメント総合演習 (9) 45 ITパスポートマネジメント総合演習 (10)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-21
授業科目	ITパスポート総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	情報技術に携わる業務知識や担当業務に関する全般的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	情報技術に携わる業務知識や担当業務に関する全般的な知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報技術活用 (1) 2 情報技術活用 (2) 3 情報技術活用 (3) 4 情報技術活用 (4) 5 情報技術活用 (5) 6 情報技術活用 (6) 7 情報技術活用 (7) 8 情報技術活用 (8) 9 情報技術活用 (9) 10 情報技術活用 (10) 11 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (1) 12 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (2) 13 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (3) 14 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (4) 15 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (5) 16 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (6) 17 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (7) 18 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (8) 19 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (9) 20 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (10) 21 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (11) 22 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (12) 23 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (13) 24 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (14) 25 企業内の情報技術活用に関するグループワーク (15) 26 企業内システム化推進 (1) 27 企業内システム化推進 (2) 28 企業内システム化推進 (3) 29 企業内システム化推進 (4) 30 企業内システム化推進 (5) 31 企業内システム化推進 (6) 32 企業内システム化推進 (7) 33 企業内システム化推進 (8) 34 企業内システム化推進 (9) 35 企業内システム化推進 (10) 36 企業内システム化推進に関するグループワーク (1) 37 企業内システム化推進に関するグループワーク (2) 38 企業内システム化推進に関するグループワーク (3)

	39 企業内システム化推進に関するグループワーク (4) 40 企業内システム化推進に関するグループワーク (5) 41 企業内システム化推進に関するグループワーク (6) 42 企業内システム化推進に関するグループワーク (7) 43 企業内システム化推進に関するグループワーク (8) 44 企業内システム化推進に関するグループワーク (9) 45 企業内システム化推進に関するグループワーク (10)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-22
授業科目	コンピュータ基礎知識Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータの記憶機能について中心に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験の午後問題演習
教科書	オリジナル問題集・解説集
特記	
授業計画	1 情報セキュリティ (1) 2 情報セキュリティ (2) 3 情報セキュリティ (3) 4 ソフトウェア (1) 5 ソフトウェア (2) 6 ソフトウェア (3) 7 データベース (1) 8 データベース (2) 9 データベース (3) 10 ネットワーク (1) 11 ネットワーク (2) 12 ネットワーク (3) 13 ソフトウェア設計 (1) 14 ソフトウェア設計 (2) 15 ソフトウェア設計 (3) 16 プロジェクトマネジメント (1) 17 プロジェクトマネジメント (2) 18 プロジェクトマネジメント (3) 19 経営戦略・企業と法務 (1) 20 経営戦略・企業と法務 (2) 21 経営戦略・企業と法務 (3) 22 総合問題演習 (1) 23 総合問題演習 (2) 24 総合問題演習 (3) 25 総合問題演習 (4) 26 総合問題演習 (5) 27 総合問題演習 (6) 28 総合問題演習 (7) 29 総合問題演習 (8) 30 総合問題演習 (9)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-23
授業科目	コンピュータ応用知識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	組み合わせによる最適なシステムの構築に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	応用情報技術者試験の合格レベルを目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 情報セキュリティ (1) 2 情報セキュリティ (2) 3 情報セキュリティ (3) 4 経営戦略 (1) 5 経営戦略 (2) 6 経営戦略 (3) 7 プログラミング (1) 8 プログラミング (2) 9 プログラミング (3) 10 システムアーキテクチャ (1) 11 システムアーキテクチャ (2) 12 システムアーキテクチャ (3) 13 ネットワーク (1) 14 ネットワーク (2) 15 ネットワーク (3) 16 データベース (1) 17 データベース (2) 18 データベース (3) 19 情報システム開発 (1) 20 情報システム開発 (2) 21 情報システム開発 (3) 22 プロジェクトマネジメント (1) 23 プロジェクトマネジメント (2) 24 プロジェクトマネジメント (3) 25 サービスマネジメント (1) 26 サービスマネジメント (2) 27 サービスマネジメント (3) 28 システム監査 (1) 29 システム監査 (2) 30 システム監査 (3)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-24
授業科目	表計算ソフト実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの基本的機能を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	貸与PCを利用しExcelの機能を修得する
教科書	ウィネット Excel2016クイックマスター (基本編)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Excelの基本 (1) 2 Excelの基本 (2) 3 データの編集 (1) 4 データの編集 (2) 5 データの編集 (3) 6 表の編集 (1) 7 表の編集 (2) 8 ブックの印刷 9 グラフと図形の作成 (1) 10 グラフと図形の作成 (2) 11 グラフと図形の作成 (3) 12 ブックの利用と管理 13 関数 (1) 14 関数 (2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-25
授業科目	ビジネス行動論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企業人として最低限、身に付けていなければならない立ち居振る舞いなどを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業人として最低限、身に付けていなければならない立ち居振る舞いなどを修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 職場のマナー (1) 2 職場のマナー (2) 3 挨拶と敬語 (1) 4 挨拶と敬語 (2) 5 電話対応STEP 1 (1) 6 電話対応STEP 1 (2) 7 電話対応STEP 2 (1) 8 電話対応STEP 2 (1) 9 接客マナー (1) 10 接客マナー (2) 11 商品説明 (1) 12 商品説明 (2) 13 商品説明 (3) 14 社会人マナー 15 社会人マナー
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-26
授業科目	販売サービス実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	販売員として必要なお客様応対から事務的な処理など総合的に学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	企業実習へ向けて必要な知識を身に付け実践することができること
教科書	授業資料はガイダンスプリントを利用
特記	
授業計画	1 企業研究 (1) 2 企業研究 (2) 3 企業研究 (3) 4 企業研究 (4) 5 企業研究 (5) 6 企業研究 (6) 7 企業研究 (7) 8 企業研究 (8) 9 企業研究 (9) 10 企業研究 (10) 11 企業内マナー演習 (1) 12 企業内マナー演習 (2) 13 企業内マナー演習 (3) 14 企業内マナー演習 (4) 15 企業内マナー演習 (5) 16 企業内マナー演習 (6) 17 企業内マナー演習 (7) 18 企業内マナー演習 (8) 19 企業内マナー演習 (9) 20 企業内マナー演習 (10) 21 企業内マナー演習 (11) 22 企業内マナー演習 (12) 23 企業内マナー演習 (13) 24 企業内マナー演習 (14) 25 企業内マナー演習 (15) 26 販売サービス演習 (1) 27 販売サービス演習 (2) 28 販売サービス演習 (3) 29 販売サービス演習 (4) 30 販売サービス演習 (5) 31 販売サービス演習 (6) 32 販売サービス演習 (7) 33 販売サービス演習 (8) 34 販売サービス演習 (9) 35 販売サービス演習 (10) 36 販売サービス演習 (11) 37 販売サービス演習 (12) 38 販売サービス演習 (13)

	39 販売サービス演習 (14)
	40 販売サービス演習 試験
	41 企業内実習 (1)
	42 企業内実習 (2)
	43 企業内実習 (3)
	44 企業内実習 (4)
	45 企業内実習 (5)
	46 企業内実習 (6)
	47 企業内実習 (7)
	48 企業内実習 (8)
	49 企業内実習 (9)
	50 企業内実習 (10)
	51 企業内実習 (11)
	52 企業内実習 (12)
	53 企業内実習 (13)
	54 企業内実習 (14)
	55 企業内実習 (15)
	56 企業内実習 (16)
	57 企業内実習 (17)
	58 企業内実習 (18)
	59 企業内実習 (19)
	60 企業内実習 (20)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-27
授業科目	金融概論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	(1) 年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	資金に関する総合的な知識を身に付け、経済・社会を見る力を養う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ファイナンシャルプランニング技能士3級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 FPの役割 2 教育・住宅取得資金計画 I (1) 3 教育・住宅取得資金計画 I (2) 4 教育・住宅取得資金計画 I (3) 5 社会保険 I (1) 6 社会保険 I (2) 7 社会保険 I (3) 8 社会保険 I (4) 9 社会保険 I (5) 10 公的年金制度 I (1) 11 公的年金制度 I (2) 12 確定拠出年金 (DC) I 13 自営業者のための年金制度 I 14 確認テスト I 15 リスクマネジメントと日本の保険制度 I 16 生命保険の概略 I (1) 17 生命保険の概略 I (2) 18 生命保険の概略 I (3) 19 生命保険商品の種類と内容 I (1) 20 生命保険商品の種類と内容 I (2) 21 生命保険商品の種類と内容 I (3) 22 損害保険の概略 I 23 損害保険商品の種類と内容 I (1) 24 損害保険商品の種類と内容 I (2) 25 個人の保険契約に関する税金 I 26 法人の保険契約に関する税金と経理処理 I 27 第三分野の保険と共済 I 28 確認テスト II 29 マーケット環境の理解 I (1) 30 マーケット環境の理解 I (2) 31 預貯金 I 32 債券 I (1) 33 債券 I (2) 34 株式 I (1) 35 株式 I (2) 36 投資信託 I (1) 37 投資信託 I (2) 38 外貨建て金融商品 I (1)

	39 金融派生商品 I 40 ポートフォリオ運用 I (1) 41 金融商品に関する税金 I 42 セーフティーネット I 43 金融資産運用関連法規 I 44 確認テスト III 45 確認テスト IV
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-28
授業科目	アルゴリズム応用
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	問題解決のための手順を理解し、プログラミングに応用する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	問題解決のための手順を理解し、プログラミングに応用する知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ソートアルゴリズム (1) 2 ソートアルゴリズム (2) 3 ソートアルゴリズム (3) 4 ソートアルゴリズム (4) 5 ソートアルゴリズム (5) 6 再起アルゴリズム (1) 7 再起アルゴリズム (2) 8 再起アルゴリズム (3) 9 再起アルゴリズム (4) 10 再起アルゴリズム (5) 11 再起アルゴリズム (6) 12 再起アルゴリズム (7) 13 再起アルゴリズム (8) 14 暗号化アルゴリズム (1) 15 暗号化アルゴリズム (2) 16 暗号化アルゴリズム (3) 17 暗号化アルゴリズム (4) 18 暗号化アルゴリズム (5) 19 暗号化アルゴリズム (6) 20 暗号化アルゴリズム (7) 21 暗号化アルゴリズム (8) 22 データ解析 (1) 23 データ解析 (2) 24 データ解析 (3) 25 データ解析 (4) 26 データ解析 (5) 27 データ解析 (6) 28 データ解析 (7) 29 データ解析 (8) 30 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-29
授業科目	基本情報技術者 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	情報技術に関する知識全般の知識演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	情報技術に関する知識全般を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (1) 2 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (2) 3 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (3) 4 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (4) 5 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (5) 6 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (6) 7 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (7) 8 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (8) 9 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (9) 10 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (10) 11 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (11) 12 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (12) 13 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (13) 14 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (14) 15 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (15) 16 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (16) 17 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (17) 18 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (18) 19 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (19) 20 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (20) 21 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (21) 22 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (22) 23 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (23) 24 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (24) 25 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (25) 26 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (26) 27 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (27) 28 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (28) 29 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (29) 30 基本情報技術者試験の午前問題演習と解説 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-30
授業科目	基本情報技術者Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	情報技術に関するプログラム設計、開発、運用等の全般的な知識演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験の午後試験合格レベル
教科書	オリジナル問題集と解説集
特記	
授業計画	1 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (1) 2 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (2) 3 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (3) 4 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (4) 5 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (5) 6 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (6) 7 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (7) 8 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (8) 9 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (9) 10 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (10) 11 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (11) 12 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (12) 13 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (13) 14 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (14) 15 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (15) 16 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (16) 17 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (17) 18 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (18) 19 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (19) 20 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (20) 21 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (21) 22 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (22) 23 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (23) 24 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (24) 25 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (25) 26 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (26) 27 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (27) 28 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (28) 29 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (29) 30 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (30) 31 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (31) 32 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (32) 33 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (33) 34 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (34) 35 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (35) 36 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (36) 37 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (37) 38 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (38)

	<p>39 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (39)</p> <p>40 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (40)</p> <p>41 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (41)</p> <p>42 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (42)</p> <p>43 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (43)</p> <p>44 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (44)</p> <p>45 基本情報技術者試験の午後問題演習と解説 (45)</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-31
授業科目	システム設計開発論
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる
教科書	アジャイル開発への道案内 (近代科学社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アジャイル開発の現状と課題 2 アジャイル開発の概要 3 アジャイル開発の特徴 4 アジャイル開発プロセス (1) 5 アジャイル開発プロセス (2) 6 アジャイル開発プロセス (3) 7 アジャイル開発プロセス (4) 8 アジャイル開発プロセス (5) 9 アジャイル開発の効果とリスク (1) 10 アジャイル開発の効果とリスク (2) 11 アジャイル開発の効果とリスク (3) 12 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 (1) 13 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 (2) 14 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 (3) 15 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 (4) 16 アジャイル開発の事例 (1) 17 アジャイル開発の事例 (2) 18 アジャイル開発の事例 (3) 19 まとめと演習 20 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (1) 21 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (2) 22 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (3) 23 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (4) 24 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (5) 25 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (6) 26 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (7) 27 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (8) 28 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (9) 29 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 (10) 30 課題演習 アジャイルソフトウェア開発
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-32
授業科目	プログラミング演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラミング言語によるシステム開発をグループで行う
授業の進め方	グループによる課題演習
達成目標	PHPを使ったチームによるシステム開発の仕組みを知る
教科書	オリジナルテキスト
特記	PHPによるシステム作成
授業計画	1 仕様書の理解 2 グループによるプログラミング (1) 3 グループによるプログラミング (2) 4 グループによるプログラミング (3) 5 グループによるプログラミング (4) 6 グループによるプログラミング (5) 7 グループによるプログラミング (6) 8 中間発表 9 グループによるプログラミング (7) 10 グループによるプログラミング (8) 11 グループによるプログラミング (9) 12 グループによるプログラミング (10) 13 グループによるプログラミング (11) 14 グループによるプログラミング (12) 15 成果物発表
成績評価方法 (試験実施方法)	授業成果物100% 授業内の成果物に対する有識者の講評
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-33
授業科目	コンピュータアーキテクチャー
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	コンピュータを構成する装置の仕組み、組み合わせに関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	コンピュータを構成する装置の仕組み、組み合わせに関する知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータシステム構成 2 プロセッサ 3 メモリ 4 バス 5 入出力デバイス 6 入出力装置 7 システムの構成 8 システムの評価指標 9 オペレーティングシステム (1) 10 オペレーティングシステム (2) 11 オペレーティングシステム (3) 12 ミドルウェア 13 ファイルシステム 14 オープンソースソフトウェア 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-34
授業科目	プログラム言語実習 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラミング言語の基礎を学び、コンピュータシステムへの命令の仕組みを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	プログラミング言語の基礎を学び、コンピュータシステムへの命令の仕組みを修得する
教科書	新・明解 Python入門(SBクリエイティブ)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プログラミング言語とは？ 2 Python概要 3 コンピュータによる処理 (1) 4 コンピュータによる処理 (2) 5 コンピュータによる処理 (3) 6 コンピュータによる処理 (4) 7 式と計算 (1) 8 式と計算 (2) 9 変数と式の評価 (1) 10 変数と式の評価 (2) 11 変数と式の評価 (3) 12 変数と式の評価 (4) 13 入出力 (1) 14 入出力 (2) 15 入出力 (3) 16 入出力 (4) 17 プログラムの制御構造 (1) 18 プログラムの制御構造 (2) 19 プログラムの制御構造 (3) 20 プログラムの制御構造 (4) 21 配列 (リスト構造) (1) 22 配列 (リスト構造) (2) 23 配列 (リスト構造) (3) 24 配列 (リスト構造) (4) 25 配列 (リスト構造) (5) 26 配列 (リスト構造) (6) 27 変数のスコープ (1) 28 変数のスコープ (2) 29 変数のスコープ (3) 30 変数のスコープ (4) 31 GUIプログラミング (1) 32 GUIプログラミング (2) 33 GUIプログラミング (3) 34 GUIプログラミング (4) 35 GUIプログラミング (5) 36 GUIプログラミング (6)

	37 GUIプログラミング (7)
	38 GUIプログラミング (8)
	39 GUIプログラミング (9)
	40 GUIプログラミング (10)
	41 演習 (1)
	42 演習 (2)
	43 演習 (3)
	44 演習 (4)
	45 演習 (5) 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-35
授業科目	J A V A 言語基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラミング言語Javaの基礎文法、オブジェクト指向の基礎を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	プログラミング言語Javaの基礎文法、オブジェクト指向の基礎を修得する
教科書	新・明解 Java入門 (SBクリエイティブ)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	1 Java概要 2 基本文法 変数と代入 3 制御構造 (1) 分岐 4 制御構造 (2) 繰り返し 5 メソッド 6 変数スコープ 7 クラスとインスタンス (1) 8 クラスとインスタンス (2) 9 クラスとインスタンス (3) 10 クラスとインスタンス (4) 11 変数のアクセス修飾子 (1) 12 変数のアクセス修飾子 (2) 13 インタフェース (1) 14 インタフェース (2) 15 インタフェース (3) 16 クラスとインタフェースの継承 (1) 17 クラスとインタフェースの継承 (2) 18 クラスとインタフェースの継承 (3) 19 クラスとインタフェースの継承 (4) 20 クラスとインタフェースの継承 (5) 21 例外処理 22 よく使われるパッケージ (1) 入出力 23 よく使われるパッケージ (2) 入出力 24 よく使われるパッケージ (3) 入出力 25 よく使われるパッケージ (1) コレクション 26 よく使われるパッケージ (2) コレクション 27 よく使われるパッケージ (3) コレクション 28 よく使われるパッケージ (4) コレクション 29 スレッド処理 (1) 30 スレッド処理 (2) 31 日付処理 (1) 32 日付処理 (2) 33 日付処理 (3) 34 データベースアクセス (1) 35 データベースアクセス (2) 36 データベースアクセス (3) 37 データベースアクセス (4) 38 データベースアクセス (5)

	39 データベースアクセス (6) 40 データベースアクセス (7) 41 まとめ演習 (1) 42 まとめ演習 (2) 43 まとめ演習 (3) 44 課題作成 (1) 45 課題作成 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-36
授業科目	Webデザイン基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	HTML+CSSの理解を深めWebにおけるフロントエンドの仕組みを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	HTML/CSSを使用してWebページの作成ができる
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本 (インプレス)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Webサイト作成準備 2 HTMLの基本 3 HTML文書的设计 4 共通ページから個別ページの作成 (1) 5 共通ページから個別ページの作成 (2) 6 CSSの基本 (1) 7 CSSの基本 (2) 8 CSSで共通部分をデザインする (1) 9 CSSで共通部分をデザインする (2) 10 コンテンツのデザインを整える (1) 11 コンテンツのデザインを整える (2) 12 スマートフォンに対応させる (1) 13 スマートフォンに対応させる (2) 14 Webサイトを公開する・機能追加 15 実技試験 (1) HTML/CSS 16 Webページ設計 (1) 17 Webページ設計 (2) 18 Webページ設計 (3) 19 Webページ作成演習 (1) 20 Webページ作成演習 (2) 21 Webページ作成演習 (3) 22 Webページ作成演習 (4) 23 Webページ作成演習 (5) 24 Webページ作成演習 (6) 25 Webページ作成演習 (7) 26 Webページ作成演習 (8) 27 Webページ作成演習 (9) 28 Webページ作成演習 (10) 29 レンタルサーバーアップロード 30 作成ページ発表
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-37
授業科目	業界研究
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	IT業界に関する社会的位置づけについて考察を行う
授業の進め方	グループによる実習・演習
達成目標	IT業界の社会の中における位置づけビジネスモデルを理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 企業によるレクチャー (1) 2 グループディスカッションの実施 (1) 3 グループディスカッションの実施 (2) 4 グループディスカッションの実施 (3) 5 グループディスカッションの実施 (4) 6 グループディスカッションの実施 (5) 7 グループディスカッションの実施 (6) 8 グループディスカッションの実施 (7) 9 グループディスカッションの実施 (8) 10 企業によるレクチャー (2) 11 グループディスカッションの実施 (9) 12 グループディスカッションの実施 (10) 13 グループディスカッションの実施 (11) 14 グループディスカッションの実施 (12) 15 グループディスカッションの実施 (13) 16 グループディスカッションの実施 (14) 17 グループディスカッションの実施 (15) 18 グループディスカッションの実施 (16) 19 グループディスカッションの実施 (17) 20 企業によるレクチャー (3) 21 グループディスカッションの実施 (19) 22 グループディスカッションの実施 (20) 23 グループディスカッションの実施 (21) 24 グループディスカッションの実施 (22) 25 グループディスカッションの実施 (23) 26 業界研究まとめ (1) 27 業界研究まとめ (2) 28 業界研究まとめ (3) 29 業界研究まとめ (4) 30 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-38
授業科目	Webプログラミング
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PHP基本文法とサーバーサイドアプリケーションの設計と実装を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバーサイドアプリケーションをPHPで実装できる
教科書	詳細！PHP 7 +MySQL 入門ノート (ソーテック社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 PHPの概要と準備 2 変数 3 演算子 4 制御構造・分岐文 5 制御構造・繰り返し文 6 関数 (1) 7 関数 (2) 8 文字列操作 (1) 9 文字列操作 (2) 10 文字列操作 (3) 11 配列 (1) 12 配列 (2) 13 実技試験 PHP (1) 14 オブジェクト指向プログラミング (1) 15 オブジェクト指向プログラミング (2) 16 オブジェクト指向プログラミング (3) 17 オブジェクト指向プログラミング (3) 18 フォーム処理の基本 (1) 19 フォーム処理の基本 (2) 20 フォーム処理の基本 (3) 21 各種フォームの使用 (1) 22 各種フォームの使用 (2) 23 各種フォームの使用 (3) 24 各種フォームの使用 (4) 25 セッションとクッキー (1) 26 セッションとクッキー (2) 27 セッションとクッキー (3) 28 ファイルの読み込みと書き出し (1) 29 ファイルの読み込みと書き出し (2) 30 実技試験 PHP (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-39
授業科目	Webプログラミング技法
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PHPサーバーサイドフレームワークLaravelを使用したサーバーサイドアプリケーションの作成方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	Laravelを使用してサーバーサイドWebアプリケーションの作成ができる
教科書	PHPフレームワーク Laravel入門 (秀和システム)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Laravelを準備する 2 ルーティングとコントローラ (1) 3 ルーティングとコントローラ (2) 4 ルーティングとコントローラ (3) 5 演習 (1) 6 ビューとテンプレート (1) 7 ビューとテンプレート (2) 8 ビューとテンプレート (3) 9 ビューとテンプレート (4) 10 演習 (2) 11 リクエスト・レスポンスを補完する (1) 12 リクエスト・レスポンスを補完する (2) 13 リクエスト・レスポンスを補完する (3) 14 リクエスト・レスポンスを補完する (4) 15 実技試験 サーバーサイドフレームワーク (1) 16 データベースの利用 (1) 17 データベースの利用 (2) 18 データベースの利用 (3) 19 データベースの利用 (4) 20 演習 (3) 21 Eloquent ORM (1) 22 Eloquent ORM (2) 23 Eloquent ORM (3) 24 Eloquent ORM (4) 25 演習 (4) 26 Restfulサービス (1) 27 Restfulサービス (2) 28 Restfulサービス (3) 29 Restfulサービス (4) 30 実技試験 サーバーサイドフレームワーク (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-40
授業科目	基本情報技術者試験対策
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験の午後問題の解法を通して、システム開発に必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験の午後問題の解法を通して、システム開発に必要なスキルを習得する
教科書	オリジナル問題集
特記	
授業計画	1 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (1) 2 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (2) 3 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (3) 4 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (4) 5 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (5) 6 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (6) 7 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (7) 8 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (8) 9 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (9) 10 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (10) 11 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (11) 12 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (12) 13 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (13) 14 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (14) 15 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (15) 16 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (16) 17 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (17) 18 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (18) 19 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (19) 20 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (20) 21 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (21) 22 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (22) 23 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (23) 24 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (24) 25 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (25) 26 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (26) 27 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (27) 28 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (28) 29 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (29) 30 情報処理技術者試験 (レベル2) 問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-41
授業科目	システム開発演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラミング言語、技法の習得をベースとしてWebシステム開発を演習する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	プログラミング言語、技法の習得をベースとしてWebシステム開発ができる
教科書	課題及びオリジナルプリント
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	1 V字モデルシステム開発について 2 ソフトウェア要求定義について 3 業務のモデル化 4 設計技法 (draw.io) について 5 グループワーク (1) 6 グループワーク (2) 7 グループワーク (3) 8 グループワーク (4) 9 グループワーク (5) 10 グループワーク (6) 11 グループワーク (7) 12 中間発表 (1) 13 グループワーク (8) 14 グループワーク (9) 15 グループワーク (10) 16 グループワーク (11) 17 グループワーク (12) 18 グループワーク (13) 19 グループワーク (14) 20 中間発表 (2) 21 グループワーク (15) 22 グループワーク (16) 23 グループワーク (17) 24 グループワーク (18) 25 グループワーク (19) 26 グループワーク (20) 27 グループワーク (21) 28 グループワーク (22) 29 グループワーク (23) 30 成果発表
成績評価方法 (試験実施方法)	授業成果物100% 授業内の成果物に対する有識者の講評
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-42
授業科目	情報ニーズの研究
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ITスキルを活用した企業内での問題解決方法の考え方、活用方法について学ぶ
授業の進め方	グループによる課題演習
達成目標	現代社会に必要なITを利用したシステム企画が検討できる
教科書	オリジナルプリント
特記	
授業計画	1 現代社会とIT 2 現代社会(時事)の課題と分析(1) 3 現代社会(時事)の課題と分析(2) 4 現代社会(時事)の課題と分析(3) 5 現代社会(時事)の課題と分析(4) 6 現代社会(時事)の課題と分析(5) 7 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(1) 8 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(2) 9 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(3) 10 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(4) 11 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(5) 12 中間発表(1) 13 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(6) 14 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(7) 15 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(8) 16 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(9) 17 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク1)(10) 18 成果発表(1) 19 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(1) 20 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(2) 21 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(3) 22 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(4) 23 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(5) 24 中間発表(2) 25 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(6) 26 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(7) 27 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(8) 28 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(9) 29 ニーズとビジネスモデルの研究(グループワーク2)(10) 30 成果発表(2)
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート評価100% 課題に対するレポート内容の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-43
授業科目	ビジネス演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	企業実習へ向けたビジネスマナー、電話応対、販売実践など総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業実習へ向けて必要な知識を身に付け実践することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネスマナー 職場のマナー 2 ビジネスマナー 挨拶と敬語 3 接客マナー 店内接客の基本 4 接客マナー クレーム対応 5 ビジネスマナー 復習 6 接客マナー 復習 7 確認テスト ビジネスマナー・接客マナー 8 販売実践 店内案内 9 販売実践 お客様に求められる販売員とは 10 販売実践 商品説明に関する知識 11 販売実践 商品説明の準備 12 販売実践 商品説明 13 販売実践 商品の包装(1) 14 販売実践 商品の包装(2) 15 実技試験 販売実践 16 電話応対の基本 17 電話応対 ケースごとの基本フレーズとポイント 18 接客・営業電話の基本 19 実習先 事前電話連絡の準備(1) 20 実習先 事前電話連絡の準備(2) 21 実習先 事前電話連絡の準備(3) 22 実習先 電話練習 注文の受け方 23 実習先 電話練習 社員への取次ぎ 24 実習先 電話練習 不在時の対応(1) 25 実習先 電話練習 不在時の対応(2) 26 実習先 電話練習 クレーム対応 27 電話応対 ロールプレイング(1) 28 電話応対 ロールプレイング(2) 29 電話応対 ロールプレイング(3) 30 実技試験 電話応対
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-44
授業科目	オフィスソフト実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理 (1) 2 ワークシートやブックの作成と管理 (2) 3 セルやセル範囲のデータの管理 (1) 4 セルやセル範囲のデータの管理 (2) 5 テーブルの作成 (1) 6 テーブルの作成 (2) 7 関数を使用してのデータ集計 (1) 8 関数を使用してのデータ集計 (2) 9 関数を使用した文字列の整形や変更 (1) 10 関数を使用した文字列の整形や変更 (2) 11 グラフの作成 (1) 12 グラフの作成 (2) 13 グラフの書式設定 (1) 14 グラフの書式設定 (2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-45
授業科目	マナー接遇応用
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	サービス・接遇の基本的知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	サービス接遇検定2級レベルのサービスと接遇の知識について理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 過去問演習 (1) 2 過去問演習 (2) 3 過去問演習 (3) 4 過去問演習 (4) 5 過去問演習 (5) 6 過去問演習 (6) 7 過去問演習 (7) 8 過去問演習 (8) 9 過去問演習 (9) 10 過去問演習 (10) 11 過去問演習 (11) 12 過去問演習 (12) 13 過去問演習 (13) 14 過去問演習 (14) 15 模擬試験と解説 (1) 16 模擬試験と解説 (2) 17 模擬試験と解説 (3) 18 模擬試験と解説 (4) 19 模擬試験と解説 (5) 20 模擬試験と解説 (6) 21 模擬試験と解説 (7) 22 模擬試験と解説 (8) 23 模擬試験と解説 (9) 24 模擬試験と解説 (10) 25 模擬試験と解説 (11) 26 模擬試験と解説 (12) 27 模擬試験と解説 (13) 28 模擬試験と解説 (14) 29 模擬試験と解説 (15) 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後の確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-46
授業科目	マナー接客基礎
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	サービス・接客の基本的知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ビジネスの場において相手に満足を提供する行動を理解し実践できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 サービススタッフの資質 必要とされる要件Ⅱ(1) 2 サービススタッフの資質 必要とされる要件(2) 3 サービススタッフの資質 従業要件Ⅱ(1) 4 サービススタッフの資質 従業要件Ⅱ(2) 5 専門知識 サービス知識Ⅱ(1) 6 専門知識 サービス知識Ⅱ(2) 7 専門知識 従業知識Ⅱ(1) 8 専門知識 従業知識Ⅱ(2) 9 一般常識 社会常識Ⅱ(1) 10 一般常識 社会常識Ⅱ(2) 11 確認テストⅠ 12 対人技能 人間関係Ⅱ 13 対人技能 接客知識Ⅱ(1) 14 対人技能 接客知識Ⅱ(2) 15 対人技能 接客知識Ⅱ(3) 16 対人技能 話し方Ⅱ(1) 17 対人技能 話し方Ⅱ(1) 18 対人技能 服装Ⅱ 19 確認テストⅡ 20 実務技能 問題処理Ⅱ(1) 21 実務技能 問題処理Ⅱ(2) 22 実務技能 環境整備Ⅱ(1) 23 実務技能 環境整備Ⅱ(2) 24 実務技能 金品管理Ⅱ(1) 25 実務技能 金品管理Ⅱ(2) 26 実務技能 金品搬送Ⅱ(1) 27 実務技能 金品搬送Ⅱ(2) 28 実務技能 社交業務Ⅱ(1) 29 実務技能 社交業務Ⅱ(2) 30 確認テストⅢ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-47
授業科目	総合演習(接客論マナー実践)
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネスの場でのサービス接客において具体的な考え方、行動の仕方を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ビジネスの場において相手に満足を提供する行動を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 サービススタッフの資質 必要とされる要件 I (1) 2 サービススタッフの資質 必要とされる要件 I (2) 3 サービススタッフの資質 必要とされる要件 I (3) 4 サービススタッフの資質 従業要件 I (1) 5 サービススタッフの資質 従業要件 I (2) 6 サービススタッフの資質 従業要件 I (3) 7 専門知識 サービス知識 I (1) 8 専門知識 サービス知識 I (2) 9 専門知識 従業知識 I (1) 10 専門知識 従業知識 I (2) 11 確認テスト I 12 一般常識 社会常識 I (1) 13 一般常識 社会常識 I (2) 14 対人技能 人間関係 I (1) 15 対人技能 接客知識 I (1) 16 対人技能 接客知識 I (2) 17 対人技能 接客知識 I (3) 18 対人技能 話し方 I (1) 19 対人技能 話し方 I (2) 20 対人技能 服装 I (1) 21 確認テスト II 22 実務技能 問題処理 I (1) 23 実務技能 問題処理 I (2) 24 実務技能 環境整備 I (1) 25 実務技能 環境整備 I (2) 26 実務技能 金品管理 I (1) 27 実務技能 金品管理 I (2) 28 実務技能 社交業務 I (1) 29 実務技能 社交業務 I (2) 30 確認テスト III
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-48
授業科目	ワープロ文書処理基礎
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成（1） 2 文章の作成（2） 3 文章内の移動（1） 4 文章内の移動（2） 5 文章の書式設定（1） 6 文章の書式設定（2） 7 オプションの設定、表示のカスタマイズ（1） 8 文章の印刷、保存（1） 9 文章の印刷、保存（2） 10 文字列・段落の挿入（1） 11 文字列・段落の挿入（2） 12 文字列・段落の書式設定（1） 13 文字列・段落の書式設定（2） 14 文字列・段落の並び替え、グループ化（1） 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-49
授業科目	プレゼンテーション基礎知識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	パワーポイントを利用した演習を通じて効果的な表現方法等を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	パワーポイントを利用した演習を通じて効果的な表現方法等を修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 プレゼンテーション (1) 2 プレゼンテーション (2) 3 グループディスカッション (1) 4 グループディスカッション (2) 5 発表準備作業 1 (1) 6 発表準備作業 1 (2) 7 発表準備作業 1 (3) 8 発表準備作業 1 (4) 9 発表準備作業 1 (5) 10 発表準備作業 1 (6) 11 発表準備作業 1 (7) 12 発表練習 (1) 13 発表練習 (2) 14 発表練習 (3) 15 発表練習 (4) 16 発表 (1回目) (1) 17 発表 (1回目) (2) 18 発表内容振り返り 19 発表準備作業 2 (1) 20 発表準備作業 2 (2) 21 発表準備作業 2 (3) 22 発表準備作業 2 (4) 23 発表準備作業 2 (5) 24 発表準備作業 2 (6) 25 発表準備作業 2 (7) 26 発表準備作業 2 (8) 27 発表準備作業 2 (9) 28 発表 (2回目) (1) 29 発表 (2回目) (2) 30 発表内容振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-50
授業科目	電卓技能
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	企業内でも多く活用されている電卓のスピード、正確性を高める実技練習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内でも多く活用されている電卓スキルを修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キータッチの練習 3 加減算 4 見取算 5 乗除算 6 伝票算 7 3・4級 問題演習 (1) 8 3・4級 問題演習 (2) 9 3・4級 問題演習 (3) 10 3・4級 問題演習 (4) 11 3・4級 問題演習 (5) 12 3・4級 問題演習 (6) 13 3・4級 問題演習 (7) 14 3・4級 問題演習 (8) 15 3・4級 問題演習 (9) 16 3・4級 問題演習 (10) 17 3・4級 問題演習 (11) 18 3・4級 問題演習 (12) 19 3・4級 問題演習 (13) 20 3・4級 問題演習 (14) 21 3・4級 問題演習 (15) 22 1・2級 問題演習 (1) 23 1・2級 問題演習 (2) 24 1・2級 問題演習 (3) 25 1・2級 問題演習 (4) 26 1・2級 問題演習 (5) 27 1・2級 問題演習 (6) 28 1・2級 問題演習 (7) 29 1・2級 問題演習 (8) 30 1・2級 問題演習 (9) 31 1・2級 問題演習 (10) 32 1・2級 問題演習 (11) 33 1・2級 問題演習 (12) 34 1・2級 問題演習 (13) 35 1・2級 問題演習 (14) 36 1・2級 問題演習 (15) 37 検定試験対策 (模擬試験) (1) 38 検定試験対策 (模擬試験) (2)

	39 検定試験対策（模擬試験）（3） 40 検定試験対策（模擬試験）（4） 41 検定試験対策（模擬試験）（5） 42 検定試験対策（模擬試験）（6） 43 検定試験対策（模擬試験）（7） 44 検定試験対策（模擬試験）（8） 45 実技試験の実施
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-01
授業科目	総合演習Ⅱ（漢字）
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	日常的に利用する漢字能力を身に付けることを目的とする。ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	日々実施する小テストで理解力を高めながら、模擬試験で8割以上の得点
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語01 2 訓読み・送り仮名・熟語02 3 訓読み・送り仮名・熟語03 4 まとめ小テスト 5 訓読み・送り仮名・熟語04 6 訓読み・送り仮名・熟語05 7 まとめ小テスト 8 同音異義・異字同訓01 9 同音異義・異字同訓02 10 まとめ小テスト 11 同音異義・異字同訓03 12 同音異義・異字同訓04 13 まとめ小テスト 14 誤字訂正01 15 誤字訂正02 16 まとめ小テスト 17 類義語・反対語01 18 類義語・反対語02 19 まとめ小テスト 20 訓読み・送り仮名・熟語Ⅱ01 21 訓読み・送り仮名・熟語Ⅱ02 22 訓読み・送り仮名・熟語Ⅱ03 23 まとめ小テスト 24 訓読み・送り仮名・熟語Ⅱ04 25 訓読み・送り仮名・熟語Ⅱ05 26 まとめ小テスト 27 同音異義・異字同訓Ⅱ01 28 同音異義・異字同訓Ⅱ02 29 まとめ小テスト 30 同音異義・異字同訓Ⅱ03 31 同音異義・異字同訓Ⅱ04 32 まとめ小テスト 33 誤字訂正Ⅱ01 34 誤字訂正Ⅱ02 35 まとめ小テスト 36 類義語・反対語Ⅱ01 37 類義語・反対語Ⅱ02

	38 まとめ小テスト 39 総まとめ問題01 40 総まとめ問題02 41 総まとめ問題03 42 総まとめ問題04 43 総まとめ問題05 44 総まとめ問題06 45 総まとめ問題07
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-02
授業科目	システム設計演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	ソリューションシステムの開発のために、ユーザーからの開発依頼を想定し、V字モデルに基づいたシステム設計技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	V字モデルに基づいたフェーズごとの成果物を完成させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	1 システム設計 V字モデル 2 システム要求仕様 (1) 3 システム要求仕様 (2) 4 システム要求仕様 (3) 5 システム要求仕様 (4) 6 システム要求仕様 (5) 7 システム要求仕様 (6) 8 システム要求仕様 (7) 9 システム要求仕様 (8) 10 システム要求仕様 (9) 11 システム要求仕様 (10) 12 システム要求仕様 (11) 13 システム要求仕様 (12) 14 システム要求仕様 (13) 15 レビュー (1) 16 システム外部設計 (1) 17 システム外部設計 (2) 18 システム外部設計 (3) 19 システム外部設計 (4) 20 システム外部設計 (5) 21 システム外部設計 (6) 22 システム外部設計 (7) 23 システム外部設計 (8) 24 システム外部設計 (9) 25 システム外部設計 (10) 26 システム外部設計 (11) 27 システム外部設計 (12) 28 システム外部設計 (13) 29 システム外部設計 (14) 30 レビュー (2) 31 システム詳細設計 (1) 32 システム詳細設計 (2) 33 システム詳細設計 (3) 34 システム詳細設計 (4) 35 システム詳細設計 (5) 36 システム詳細設計 (6) 37 システム詳細設計 (7)

	38 システム詳細設計 (8)
	39 システム詳細設計 (9)
	40 システム詳細設計 (10)
	41 システム詳細設計 (11)
	42 システム詳細設計 (12)
	43 システム詳細設計 (13)
	44 システム詳細設計 (14)
	45 レビュー (3)
	46 システムテスト設計 (1)
	47 システムテスト設計 (2)
	48 システムテスト設計 (3)
	49 システムテスト設計 (4)
	50 システムテスト設計 (5)
	51 システムテスト設計 (6)
	52 システムテスト設計 (7)
	53 システムテスト設計 (8)
	54 システムテスト設計 (9)
	55 システムテスト設計 (10)
	56 システムテスト設計 (11)
	57 システムテスト設計 (12)
	58 システムテスト設計 (13)
	59 システムテスト設計 (14)
	60 レビュー評価
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-03
授業科目	応用情報総合
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	システム開発における基礎知識を基にして、実際の環境に即して組合せ応用する技法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の総合演習問題で理解を深め、知識を定着させる
教科書	オリジナル問題集・解説集
特記	
授業計画	1 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (1) 2 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (2) 3 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (3) 4 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (4) 5 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (5) 6 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (6) 7 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (7) 8 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (8) 9 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (9) 10 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (10) 11 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (11) 12 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (12) 13 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (13) 14 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (14) 15 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (15) 16 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (16) 17 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (17) 18 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (18) 19 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (19) 20 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (20) 21 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (21) 22 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (22) 23 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (23) 24 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (24) 25 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (25) 26 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (26) 27 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (27) 28 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (28) 29 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (29) 30 情報処理技術者試験 (レベル3) 総合問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-04
授業科目	基本情報技術者Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	情報技術やプログラム設計、開発、運用等の全般的な知識習得を目的とする。システム開発を行うためのプログラムの設計や開発、運用、保守をするために必要な知識の演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の総合演習問題で理解を深め、知識を定着させる
教科書	オリジナル問題集・解説集
特記	
授業計画	1 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (1) 2 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (2) 3 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (3) 4 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (4) 5 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (5) 6 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (6) 7 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (7) 8 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (8) 9 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (9) 10 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (10) 11 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (11) 12 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (12) 13 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (13) 14 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (14) 15 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (15) 16 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (16) 17 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (17) 18 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (18) 19 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (19) 20 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (20) 21 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (21) 22 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (22) 23 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (23) 24 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (24) 25 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (25) 26 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (26) 27 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (27) 28 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (28) 29 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (29) 30 情報処理技術者試験 (レベル2) 総合問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-05
授業科目	高度情報処理
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	情報システムにおける一通りの流れの習得を目的とする。データベース、ネットワーク、プログラミング等の知識を使い、システム全体の設計から開発、マネジメント等を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	設定された状況に対する適切な技術の組み合わせを提示できるスキルを習得す
教科書	オリジナル問題集・解説集
特記	
授業計画	1 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (1) 2 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (2) 3 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (3) 4 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (4) 5 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (5) 6 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (6) 7 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (7) 8 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (8) 9 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (9) 10 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (10) 11 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (11) 12 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (12) 13 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (13) 14 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (14) 15 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (15) 16 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (16) 17 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (17) 18 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (18) 19 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (19) 20 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (20) 21 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (21) 22 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (22) 23 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (23) 24 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (24) 25 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (25) 26 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (26) 27 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (27) 28 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (28) 29 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (29) 30 情報処理技術者試験 (レベル4) 総合問題演習 (30)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-06
授業科目	C言語基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	C言語の基本文法とCUIベースプログラムの作成
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	C言語を使い基本的なプログラムの実装ができる
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門 (技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 データを識別して保持する (1) 3 データを識別して保持する (2) 4 データを加工して保存する (1) 5 データを加工して保存する (2) 6 プログラムの流れを記述する (1) 7 プログラムの流れを記述する (2) 8 プログラムの流れを記述する (3) 9 プログラムの流れを記述する (4) 10 プログラムの流れを記述する (5) 11 プログラムを機能でまとめる (1) 12 プログラムを機能でまとめる (2) 13 プログラムを機能でまとめる (3) 14 さまざまな前処理を行う 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-07
授業科目	C言語応用
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	C言語の応用とネットワークプログラミング
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	OS回りおよびネットワーク関連の基本プログラムをC言語で実装できる
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門 (技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 データをまとめて場所を指し示す (1) 2 データをまとめて場所を指し示す (2) 3 実技試験 C言語 (1) 4 異なるデータ型をまとめる (1) 5 異なるデータ型をまとめる (2) 6 動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (1) 7 動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (2) 8 データを保存して読み出す (1) 9 データを保存して読み出す (2) 10 データを保存して読み出す (3) 11 データを保存して読み出す (4) 12 避けて通れない応用 (1) 13 避けて通れない応用 (2) 14 避けて通れない応用 (3) 15 実技試験 C言語 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-08
授業科目	C言語プログラミング実習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	C言語を利用したアプリケーションの開発実習を行い、システムの作成とC言語の応用方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	C言語を用い複数の機能を組み合わせたアプリケーションを実装できる
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門 (技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 TCP/IPを利用したCプログラミング 2 サーバプログラム (1) 3 サーバプログラム (2) 4 サーバプログラム (3) 5 サーバプログラム (4) 6 サーバプログラム (5) 7 クライアントプログラム (1) 8 クライアントプログラム (2) 9 クライアントプログラム (3) 10 クライアントプログラム (4) 11 クライアントプログラム (5) 12 クライアントプログラム (6) 13 クライアントプログラム (7) 14 課題演習 (1) 15 課題演習 (2) 16 課題演習 (3) 17 課題演習 (4) 18 課題演習 (5) 19 課題演習 (6) 20 課題演習 (7) 21 マルチスレッドプログラミング (1) 22 マルチスレッドプログラミング (2) 23 マルチスレッドプログラミング (3) 24 マルチスレッドプログラミング (4) 25 マルチスレッドプログラミング (5) 26 せきゅらプログラミング (1) 27 せきゅらプログラミング (2) 28 せきゅらプログラミング (3) 29 せきゅらプログラミング (4) 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-09
授業科目	ネットワークプログラミング演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネットワークに関する概論の知識習得を目的とする。プロトコルや交換方式、暗号化等のネットワーク技術を演習を通し学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	C/Sモデルにおけるネットワークプログラミングの技術を習得し実機で実装できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クライアントサーバー型プログラミング 2 ネットワーク環境構築 (OSI 7 層) 3 サーバープログラミング (1) 4 サーバープログラミング (2) 5 サーバープログラミング (3) 6 サーバープログラミング (4) 7 サーバープログラミング (5) 8 クライアントプログラミング (1) 9 クライアントプログラミング (2) 10 クライアントプログラミング (3) 11 クライアントプログラミング (4) 12 クライアントプログラミング (5) 13 クライアントプログラミング (6) 14 クライアントプログラミング (7) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-10
授業科目	インターネット技術
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	IPネットワークおよび仮想化技術、クラウド環境の技術概要の理解と構築方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	IPネットワークの活用およびクラウド環境の利活用方法を修得する
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門（技術評論社）
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 IPv4とIPv6 2 DNS 3 ルーティングプロトコル 4 公開鍵認証 5 仮想化技術 6 クラウドシステム 7 演習（1） 8 演習（2） 9 演習（3） 10 演習（4） 11 演習（5） 12 演習（6） 13 演習（7） 14 演習（8） 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-11
授業科目	J A V A 言語応用
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	JavaによるWebフレームワークに関する知識習得を中心として、演習によるWebシステムの動作原理の習得を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	JSP、Servletの仕組みの理解と実装 Java Webフレームワークによるアプリ開発の習得
教科書	基礎からのサーブレット/JSP (SBクリエイティブ)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 サーバーサイドJava 2 JavaServlet (1) 3 JavaServlet (2) 4 JavaServlet (3) 5 JavaServlet (4) 6 JSP (1) 7 JSP (2) 8 JSP (3) 9 JSP (4) 10 JSP (5) 11 JSP (6) 12 JSP (7) 13 課題演習 (1) 14 課題演習 (2) 15 課題演習 (3) 16 MVCモデル (1) 17 MVCモデル (2) 18 MVCモデル (3) 19 MVCモデル (4) 20 MVCモデル (5) 21 課題演習 (1) 22 課題演習 (2) 23 課題演習 (3) 24 Spring Bootフレームワーク (1) 25 Spring Bootフレームワーク (2) 26 Spring Bootフレームワーク (3) 27 Spring Bootフレームワーク (4) 28 Spring Bootフレームワーク (5) 29 Spring Bootフレームワーク (6) 30 Spring Bootフレームワーク (7)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																													
科目番号	2-12																																													
授業科目	ビジネスマナー																																													
実務家教員																																														
学部・学科	情報システム学科																																													
履修年次	2年次																																													
開講学期	前期																																													
科目区分	選択必修																																													
授業方法	講義・演習																																													
授業時間	30時間																																													
単位数	1																																													
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)																																													
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。電話対応、接客、接客などの基本ルールを学ぶ																																													
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る																																													
達成目標	就活時の会社との接触や入社後に敬語や電話対応のマナーを実践できる																																													
教科書	オリジナルテキスト																																													
特記																																														
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>職場のマナー (1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>職場のマナー (2)</td> <td>挨拶と敬語 (1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>挨拶と敬語 (2)</td> <td>実技試験<挨拶と敬語></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>電話対応STEP 1 (1)</td> <td>電話対応STEP 1 (2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>電話対応STEP 1 (3)</td> <td>電話対応STEP 1 (4)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>電話対応STEP 1 (5)</td> <td>電話対応STEP 1 (6)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>実技試験<電話対応STEP 1></td> <td>電話対応STEP 2 (1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>電話対応STEP 2 (2)</td> <td>電話対応STEP 2 (3)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>電話対応STEP 2 (4)</td> <td>電話対応STEP 2 (5)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>電話対応STEP 2 (6)</td> <td>実技試験<電話対応STEP 2></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>接客マナー (1)</td> <td>接客マナー (2)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>接客マナー (3)</td> <td>接客マナー (4)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>接客マナー (5)</td> <td>接客マナー (6)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>実技試験<接客マナー></td> <td>クレーム対応</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>実技試験マナー総合</td> <td></td> </tr> </table>	1	オリエンテーション	職場のマナー (1)	2	職場のマナー (2)	挨拶と敬語 (1)	3	挨拶と敬語 (2)	実技試験<挨拶と敬語>	4	電話対応STEP 1 (1)	電話対応STEP 1 (2)	5	電話対応STEP 1 (3)	電話対応STEP 1 (4)	6	電話対応STEP 1 (5)	電話対応STEP 1 (6)	7	実技試験<電話対応STEP 1>	電話対応STEP 2 (1)	8	電話対応STEP 2 (2)	電話対応STEP 2 (3)	9	電話対応STEP 2 (4)	電話対応STEP 2 (5)	10	電話対応STEP 2 (6)	実技試験<電話対応STEP 2>	11	接客マナー (1)	接客マナー (2)	12	接客マナー (3)	接客マナー (4)	13	接客マナー (5)	接客マナー (6)	14	実技試験<接客マナー>	クレーム対応	15	実技試験マナー総合	
1	オリエンテーション	職場のマナー (1)																																												
2	職場のマナー (2)	挨拶と敬語 (1)																																												
3	挨拶と敬語 (2)	実技試験<挨拶と敬語>																																												
4	電話対応STEP 1 (1)	電話対応STEP 1 (2)																																												
5	電話対応STEP 1 (3)	電話対応STEP 1 (4)																																												
6	電話対応STEP 1 (5)	電話対応STEP 1 (6)																																												
7	実技試験<電話対応STEP 1>	電話対応STEP 2 (1)																																												
8	電話対応STEP 2 (2)	電話対応STEP 2 (3)																																												
9	電話対応STEP 2 (4)	電話対応STEP 2 (5)																																												
10	電話対応STEP 2 (6)	実技試験<電話対応STEP 2>																																												
11	接客マナー (1)	接客マナー (2)																																												
12	接客マナー (3)	接客マナー (4)																																												
13	接客マナー (5)	接客マナー (6)																																												
14	実技試験<接客マナー>	クレーム対応																																												
15	実技試験マナー総合																																													
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価																																													
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする																																													

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-13
授業科目	プレゼンテーション実技
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 PowerPointの基本操作 2 プレゼンテーションの作成 3 スライドの挿入、書式設定 4 配布資料、ノートの変更 5 スライドの並び替え、グループ化 6 オプションの変更 7 スライドショーの設定、実行 8 テキストの挿入、書式設定 9 図形・テキストボックスの挿入・書式設定 10 図の挿入、書式設定 11 図形の並び替え、グループ化 12 総合学習(1) 13 総合学習(2) 14 総合学習(3) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	2-14	
授業科目	情報処理関連知識	
実務家教員		
学部・学科	情報システム学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間	
単位数	1	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	ITリテラシーに関する最新の情報を自ら調査・考察を行いレポート作成およびプレゼンテーションを実施する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	資料を整理しレポートの作成およびプレゼンテーションの実施ができるスキルの修得	
教科書	オリジナルプリント	
特記		
授業計画	1	IT最新用語 (1)
	2	IT最新用語 (2)
	3	IT最新用語 (3)
	4	IT最新用語 (4)
	5	IT最新用語 (5)
	6	レポート作成 (1)
	7	IT関連用語 (1)
	8	IT関連用語 (2)
	9	IT関連用語 (3)
	10	IT関連用語 (4)
	11	IT関連用語 (5)
	12	IT関連用語 (6)
	13	IT関連用語 (7)
	14	IT関連用語 (8)
	15	レポート作成 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-15
授業科目	時事研究
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	学生が日々の課題の時事問題に対する周辺知識を調べ、自分なりの見解を導くことにより理解を深めるとともに、社会情勢を理解し問題意識を持つ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現代社会における主要な時事問題に関する知識習得と問題意識の取得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 解説(1) 解説(2) 確認テスト(1) 2 解説(3) 確認テスト(2) 解説(4) 確認テスト(3) 3 解説(5) 確認テスト(4) 解説(6) 確認テスト(5) 4 解説(7) 確認テスト(6) 解説(8) 確認テスト(7) 5 解説(9) 確認テスト(8) 解説(10) 確認テスト(9) 6 解説(11) 確認テスト(10) 解説(12) 確認テスト(11) 7 解説(13) 確認テスト(12) 解説(14) 確認テスト(13) 8 解説(15) 確認テスト(14) 解説(16) 確認テスト(15) 9 解説(17) 確認テスト(16) 解説(18) 確認テスト(17) 10 解説(19) 確認テスト(18) 解説(20) 確認テスト(19) 11 解説(21) 確認テスト(20) 解説(22) 確認テスト(21) 12 解説(23) 確認テスト(22) 解説(24) 確認テスト(23) 13 解説(25) 確認テスト(24) 解説(26) 確認テスト(25) 14 解説(27) 確認テスト(26) 解説(28) 確認テスト(27) 15 解説(29) 確認テスト(28) 解説(30) 確認テスト(29) 16 確認テスト(30) プレゼンシート作成<説明> 17 プレゼンシート作成<作成作業(1)> 18 プレゼンシート作成<作成作業(2)> 19 プレゼンシート作成<作成作業(3)> 20 プレゼンシート作成<作成作業(4)> 21 プレゼンシート作成<作成作業(5)> 22 発表日1(1) 23 発表日1-3 発表内容振り返り 24 プレゼンシート作成<作成作業(1)> 25 プレゼンシート作成<作成作業(2)> 26 プレゼンシート作成<作成作業(3)> 27 プレゼンシート作成<作成作業(4)> 28 プレゼンシート作成<作成作業(5)> 29 発表日2(1) 30 発表日2(2)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-16
授業科目	卒業研究
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	実務で必要とされるプログラミングの知識習得を目的とする。システム事例をもとに機能・操作・性能を考慮したプログラミング技法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	規約などの開発標準の策定、および実務で取り入れられている設計や実装方法を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	1 プログラミング(開発) (1) 2 プログラミング(開発) (2) 3 プログラミング(開発) (3) 4 プログラミング(開発) (4) 5 プログラミング(開発) (5) 6 プログラミング(開発) (6) 7 プログラミング(開発) (7) 8 プログラミング(開発) (8) 9 プログラミング(開発) (9) 10 プログラミング(開発) (10) 11 プログラミング(開発) (11) 12 プログラミング(開発) (12) 13 プログラミング(開発) (13) 14 プログラミング(開発) (14) 15 プログラミング(開発) (15) 16 プログラミング(開発) (16) 17 プログラミング(開発) (17) 18 プログラミング(開発) (18) 19 プログラミング(開発) (19) 20 プログラミング(開発) (20) 21 プログラミング(開発) (21) 22 プログラミング(開発) (22) 23 プログラミング(開発) (23) 24 プログラミング(開発) (24) 25 プログラミング(開発) (25) 26 プログラミング(開発) (26) 27 プログラミング(開発) (27) 28 プログラミング(開発) (28) 29 プログラミング(開発) (29) 30 プログラミング(開発) (30) 31 プログラミング(開発) (31) 32 プログラミング(開発) (32) 33 プログラミング(開発) (33) 34 プログラミング(開発) (34) 35 プログラミング(開発) (35) 36 プログラミング(開発) (36)

	37 プログラミング(開発) (37)
	38 プログラミング(開発) (38)
	39 プログラミング(開発) (39)
	40 プログラミング(開発) (40)
	41 プログラミング(開発) (41)
	42 プログラミング(開発) (42)
	43 プログラミング(開発) (43)
	44 プログラミング(開発) (44)
	45 プログラミング(開発) (45)
	46 プログラミング(開発) (46)
	47 プログラミング(開発) (47)
	48 プログラミング(開発) (48)
	49 プログラミング(開発) (49)
	50 プログラミング(開発) (50)
	51 プログラミング(開発) (51)
	52 プログラミング(開発) (52)
	53 プログラミング(開発) (53)
	54 プログラミング(開発) (54)
	55 プログラミング(開発) (55)
	56 プログラミング(開発) (56)
	57 プログラミング(開発) (57)
	58 プログラミング(開発) (58)
	59 プログラミング(開発) (59)
	60 プログラミング(開発) (60)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-17
授業科目	サーバー構築実習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Webアプリケーションサーバー、メールサーバー、各種ネットワークサーバーの構築およびサービスプログラムの構築を実習し習得する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバー稼働サービスを理解し、構築できる
教科書	28日で即戦力！サーバー技術者養成講座（技術評論社）
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 サーバー環境の基礎（1） 2 サーバー環境の基礎（2） 3 利用技術の基礎-Windows 4 利用技術の基礎-UNIX/Linux 1 5 利用技術の基礎-UNIX/Linux 2（1） 6 利用技術の基礎-UNIX/Linux 2（2） 7 サーバー導入技術の習得（1） 8 サーバー導入技術の習得（2） 9 サーバーアプリケーションの仕組みと構築（1） 10 サーバーアプリケーションの仕組みと構築（2） 11 メールサーバー（1） 12 メールサーバー（2） 13 ホームページサーバー（1） 14 ホームページサーバー（2） 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-18
授業科目	システム運用
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	システム開発後の運用における課題と障害対応について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的な運用技術のと障害発生時の対応を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	1 WindowsServerOS、LinuxOSの違い 2 シェルスクリプト (1) 3 シェルスクリプト (2) 4 シェルスクリプト (3) 5 シェルスクリプト (4) 6 シェルスクリプト (5) 7 システム運用管理 (1) 8 システム運用管理 (2) 9 システム運用管理 (3) 10 システム運用管理 (4) 11 システム運用管理 (5) 12 システム運用管理 (6) 13 システム運用管理 (7) 14 システム運用管理 (8) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-19
授業科目	データベース演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	RDBに関する設計と運用に関する実習と演習を行う
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	RDBを利用したアプリケーションの開発をおこなうことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 DBMSのインストール 2 管理ソフトの使い方 3 SQL復習 4 プログラム言語との連携 (1) 5 プログラム言語との連携 (2) 6 プログラム言語との連携 (3) 7 バックアップとリストア 8 レプリケーション 9 DBMS運用と管理 10 アプリケーション開発 (1) 11 アプリケーション開発 (2) 12 アプリケーション開発 (3) 13 アプリケーション開発 (4) 14 アプリケーション開発 (5) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験100% 実技による実技試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-20
授業科目	プログラム設計演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ (大学教育出版)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種ツールの準備と・実習 2 システム分析の本質 3 図解技法の応用 (例題と演習) 4 演習 (1) 5 演習 (2) 6 システム分析・設計の手順 7 UMLの基本 (1) 8 UMLの基本 (2) 9 システム分析の事例演習 1 (1) 10 システム分析の事例演習 1 (2) 11 システム分析の事例演習 1 (3) 12 システム分析の事例演習 2 (1) 13 システム分析の事例演習 2 (2) 14 システム分析の事例演習 2 (3) 15 実技試験 オブジェクト指向分析設計 (1) 16 システム分析の事例演習 3 (1) 17 システム分析の事例演習 3 (2) 18 システム分析の事例演習 3 (3) 19 UMLを用いたシステムの設計の基礎 20 システム設計の事例演習 (1) 21 システム設計の事例演習 (2) 22 システム設計の事例演習 (3) 23 総合演習 (1) 24 総合演習 (2) 25 総合演習 (3) 26 総合演習 (4) 27 総合演習 (5) 28 総合演習 (6) 29 総合演習 (7) 30 実技試験 オブジェクト指向分析設計 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-21
授業科目	卒業制作企画
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	卒業研究に向けた企画作成を行い、問題点の明確化、解決策の提示を通して、システム開発の目的を学ぶ
授業の進め方	グループによる実習・演習
達成目標	以後のシステム具体化に必要なかつ十分なレベルの企画書を作成する
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 卒業研究とは 2 業界研究 (1) 3 業界研究 (2) 4 業界研究 (3) 5 業界研究 (4) 6 業界研究 (5) 7 業界研究 (6) 8 業界研究 (7) 9 業界研究 (8) 10 業界研究 (9) 11 企画書の作成 (1) 12 企画書の作成 (2) 13 企画書の作成 (3) 14 企画書の作成 (4) 15 中間発表準備 (1) 16 中間発表準備 (2) 17 中間発表準備 (3) 18 中間発表 (1) 19 ドメインモデリングの理論 20 ドメインモデリングの実践 21 ドメインモデリング分析 (1) 22 ドメインモデリング分析 (2) 23 要求レビューの理論 24 要求レビューの実践 25 要求レビュー (1) 26 要求レビュー (2) 27 要求レビュー (3) 28 要求レビュー (4) 29 要求レビュー (5) 30 要求レビュー (6)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-22
授業科目	インターネット運用
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネットワークの運用演習、ログ収集・解析の運用実習を行う
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	インターネット上のサーバー運用の理解
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 サーバー基礎 (1) 2 サーバー基礎 (2) 3 自動侵入検出システム (1) 4 自動侵入検出システム (2) 5 仮想化 (1) 6 仮想化 (2) 7 他のサーバーOS 8 運用管理技術 9 ドメイン導入の手続き 10 演習 (1) 11 演習 (2) 12 演習 (3) 13 演習 (4) 14 復習 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-23
授業科目	システム開発実習 I
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	卒業研究の実装とプログラミングフェーズの演習を行う
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	UMLを利用したプログラムアーキテクチャ設計の習得
教科書	システムの分析と設計 ー 図解とUMLによるアプローチ (大学教育出版)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 中間発表準備 (1) 2 中間発表準備 (2) 3 中間発表準備 (3) 4 中間発表準備 (4) 5 中間発表 6 ロバストネス分析の理論 7 ロバストネス分析の実践 8 ロバストネス分析 (1) 9 ロバストネス分析 (2) 10 ロバストネス分析 (3) 11 ロバストネス分析 (4) 12 ロバストネス分析 (5) 13 ロバストネス分析 (6) 14 ロバストネス分析 (7) 15 ロバストネス分析 (8) 16 予備設計レビューの理論 17 予備設計レビューの実践 18 予備設計レビュー (1) 19 予備設計レビュー (2) 20 予備設計レビュー (3) 21 予備設計レビュー (4) 22 予備設計レビュー (5) 23 予備設計レビュー (6) 24 予備設計レビュー (7) 25 予備設計レビュー (8) 26 テクニカルアーキテクチャの理論 27 テクニカルアーキテクチャの実践 28 シーケンス図作成の理論 29 シーケンス図作成の実践 30 シーケンス図作成 (1) 31 シーケンス図作成 (2) 32 シーケンス図作成 (3) 33 シーケンス図作成 (4) 34 シーケンス図作成 (5) 35 シーケンス図作成 (6) 36 シーケンス図作成 (7) 37 シーケンス図作成 (8) 38 シーケンス図作成 (9)

	39 シーケンス図作成 (1 0)
	40 シーケンス図作成 (1 1)
	41 シーケンス図作成 (1 2)
	42 シーケンス図作成 (1 3)
	43 シーケンス図作成 (1 4)
	44 シーケンス図作成 (1 5)
	45 シーケンス図作成 (1 6)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-24
授業科目	システム開発実習Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	卒業研究の実装とプログラミング・テストフェーズの演習を行う
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	システムの分析と設計 ー図解とUMLによるアプローチー (大学教育出版)
教科書	ユースケース駆動開発実践ガイド (翔泳社)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 シーケンス図作成 (1) 2 シーケンス図作成 (2) 3 シーケンス図作成 (3) 4 シーケンス図作成 (4) 5 シーケンス図作成 (5) 6 シーケンス図作成 (6) 7 シーケンス図作成 (7) 8 シーケンス図作成 (8) 9 シーケンス図作成 (9) 10 シーケンス図作成 (10) 11 シーケンス図作成 (11) 12 シーケンス図作成 (12) 13 シーケンス図作成 (13) 14 シーケンス図作成 (14) 15 シーケンス図作成 (15) 16 シーケンス図作成 (16) 17 詳細設計レビューの理論 18 詳細設計レビューの実践 19 詳細設計レビュー (1) 20 詳細設計レビュー (2) 21 詳細設計レビュー (3) 22 詳細設計レビュー (4) 23 詳細設計レビュー (5) 24 詳細設計レビュー (6) 25 詳細設計レビュー (7) 26 詳細設計レビュー (8) 27 詳細設計レビュー (9) 28 詳細設計レビュー (10) 29 詳細設計からコードへ 30 実装の実践 31 プログラミング(開発) (1) 32 プログラミング(開発) (2) 33 プログラミング(開発) (3) 34 プログラミング(開発) (4) 35 プログラミング(開発) (5) 36 プログラミング(開発) (6) 37 プログラミング(開発) (7) 38 プログラミング(開発) (8)

	39	プログラミング(開発) (9)
	40	プログラミング(開発) (10)
	41	プログラミング(開発) (11)
	42	プログラミング(開発) (12)
	43	プログラミング(開発) (13)
	44	プログラミング(開発) (14)
	45	プログラミング(開発) (15)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-25
授業科目	Javaプログラミング基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門 (SBクリエイティブ) 、Java8問題集 (SCC Books)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐 (1) if文 (1) 4 制御構文・分岐 (2) if文 (2) 5 制御構文・分岐 (3) switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し (1) do-while文 7 制御構文・繰り返し (2) while文 8 制御構文・繰り返し (3) for文 9 制御構文・繰り返し (4) 10 基本型と演算 11 配列 (1) 12 配列 (2) 13 配列 (3) 14 演習 (1) 15 実技試験 Java (1) 16 メソッド (1) 17 メソッド (2) 18 メソッド (3) 19 クラスの基本 (1) 20 クラスの基本 (2) 21 日付クラスの作成 (1) 22 日付クラスの作成 (2) 23 クラス変数とクラスメソッド (1) 24 クラス変数とクラスメソッド (2) 25 クラス変数とクラスメソッド (3) 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓 (1) 28 クラスの派生と多相姓 (1) 29 クラスの派生と多相姓 (1) 30 実技試験 Java (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-26
授業科目	ビジネスコミュニケーション論
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	SNSによるビジネス活用方法を学び、現代社会のコミュニケーションによる問題解決方法を修得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	SNS利用によるメリットデメリットの理解とビジネス利用への提案スキルを得る
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代のコミュニケーションとは 2 SNSの役割と課題 3 抽象テーマ型グループディスカッション (1) 4 抽象テーマ型グループディスカッション (2) 5 抽象テーマ型グループディスカッション (3) 6 課題解決型グループディスカッション (1) 7 課題解決型グループディスカッション (2) 8 課題解決型グループディスカッション (3) 9 資料読み取り型グループディスカッション (1) 10 資料読み取り型グループディスカッション (2) 11 資料読み取り型グループディスカッション (3) 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型 (1) 15 その他特殊型 (2) 16 システムとコミュニケーション演習 (1) 17 システムとコミュニケーション演習 (2) 18 システムとコミュニケーション演習 (3) 19 システムとコミュニケーション演習 (4) 20 システムとコミュニケーション演習 (5) 21 システムとコミュニケーション演習 (6) 22 システムとコミュニケーション演習 (7) 23 システムとコミュニケーション演習 (8) 24 システムとコミュニケーション演習 (9) 25 システムとコミュニケーション演習 (10) 26 システムとコミュニケーション演習 (11) 27 システムとコミュニケーション演習 (12) 28 システムとコミュニケーション演習 (13) 29 システムとコミュニケーション演習 (14) 30 システムとコミュニケーション演習 (15)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-27
授業科目	Javaプログラミング実践 I
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解Java入門 (SBクリエイティブ) 、Java8問題集 (SCC Books)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 抽象クラス (1) 2 抽象クラス (2) 3 インタフェース (1) 4 インタフェース (1) 5 演習 (2) 6 文字と文字列 (1) 7 文字と文字列 (2) 8 例外処理 (1) 9 例外処理 (2) 10 実技試験 (1) 11 総合演習 ようこそJavaの世界へ 12 総合演習 はじめてのJavaプログラム 13 総合演習 基本的なJavaプログラムの構造 14 総合演習 コンピュータで扱うデータ表現 15 総合演習 変数/定数と型 16 総合演習 演算と演算子 17 総合演習 配列の宣言・生成 (1) 18 総合演習 配列の宣言・生成 (2) 19 総合演習 制御文 (1) 20 総合演習 制御文 (2) 21 総合演習 クラスとオブジェクト (1) 22 総合演習 クラスとオブジェクト (2) 23 総合演習 クラスの関係を深める (1) 24 総合演習 クラスの関係を深める (2) 25 総合演習 クラスの継承 (1) 26 総合演習 クラスの継承 (2) 27 総合演習 例外処理 (1) 28 総合演習 例外処理 (2) 29 まとめ 30 実技試験 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-28
授業科目	システム評価
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	システムの評価方法と評価基準について習得し、結合テスト、総合テスト、運用テストの重要性について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	プログラム品質を確保できるテストの計画と実施を、フェーズごとに習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 設計駆動テストの理論 2 設計駆動テストの実践 3 テストの実践 (1) 4 テストの実践 (2) 5 テストの実践 (3) 6 テストの実践 (4) 7 テストの実践 (5) 8 テストの実践 (6) 9 テストの実践 (7) 10 テストの実践 (8) 11 テストの実践 (9) 12 テストの実践 (10) 13 テストの実践 (11) 14 テストの実践 (12) 15 テストの実践 (13) 16 テストの実践 (14) 17 テストの実践 (15) 18 テストの実践 (16) 19 テストの実践 (17) 20 テストの実践 (18) 21 テストの実践 (19) 22 テストの実践 (20) 23 テストの実践 (21) 24 テストの実践 (22) 25 テストの実践 (23) 26 テスト報告書の作成 (1) 27 テスト報告書の作成 (2) 28 テスト報告書の作成 (3) 29 テスト報告書の作成 (4) 30 テスト報告書の作成 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-29
授業科目	セキュアプログラミング
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	TCP/IPプログラミングを通して、システム開発におけるリスクを学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	Webシステム構築の際の脆弱性を理解しセキュアプログラムを作成できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 セキュリティとプログラミング 2 C言語によるプログラミングリスク (1) 3 C言語によるプログラミングリスク (2) 4 C言語によるプログラミングリスク (3) 5 C言語によるプログラミングリスク (4) 6 インターネットとプログラミング 7 Webシステムのプログラミングリスク (1) 8 Webシステムのプログラミングリスク (2) 9 Webシステムのプログラミングリスク (3) 10 Webシステムのプログラミングリスク (4) 11 Webシステムのプログラミングリスク (5) 12 Webシステムのプログラミングリスク (6) 13 Webシステムのプログラミングリスク (7) 14 Webシステムのプログラミングリスク (8) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-30
授業科目	アプリ開発演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	スマートフォンアプリ開発における演習を行い、実践能力を修得する
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	利用者やプラットフォームを意識したアプリの開発スキルを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 モバイルアプリ開発環境設定 2 アプリケーション設計 (1) 3 アプリケーション設計 (2) 4 アプリケーション開発 (1) 5 アプリケーション開発 (2) 6 アプリケーション開発 (3) 7 アプリケーション開発 (4) 8 アプリケーション開発 (5) 9 アプリケーション開発 (6) 10 アプリケーション開発 (7) 11 アプリケーション開発 (8) 12 アプリケーション開発 (9) 13 アプリケーション開発 (10) 14 アプリケーション開発 (11) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-31
授業科目	ネットワーク構築演習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ネットワーク設計に必要な知識を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	高可用ネットワークの設計ができる
教科書	ネットワーク技術&設計入門 (SBCreative) 、パケットキャプチャの教科書 (SBCreative)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク構築の流れ 2 物理設計 (1) 3 物理設計 (2) 4 論理設計 (1) 5 論理設計 (2) 6 セキュリティ設計 (1) 7 セキュリティ設計 (2) 8 WireSharkの使い方 (1) 9 WireSharkの使い方 (2) 10 レイヤー2プロトコル 11 レイヤー3プロトコル 12 レイヤー4プロトコル 13 アプリケーションプロトコル (1) 14 アプリケーションプロトコル (2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-32
授業科目	L i n u x 基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Linuxの概要と基本コマンド、シェルプログラミングの基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	Linuxの基本コマンドが使える、簡単なシェルプログラムを作成できる
教科書	いちばんやさしいLinuxコマンド入門教室 (ソーテック社)、シェルスクリプト基本リファレンス (技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Linux操作の基本 2 ファイルを操作する 3 シェルと日常作業コマンド 4 テキスト処理コマンド 5 パッケージを管理する 6 ネットワークコマンド 7 システム管理コマンド 8 実技試験 Linux 9 シェル・シェルスクリプト入門 10 シェルスクリプトの基本事項 11 シェル文法の循環構造 12 複合コマンド 13 組み込みコマンド 14 よく使う外部コマンド 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-33
授業科目	情報セキュリティ基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	サイバーセキュリティの基礎を習得し、ネットワーク設計に活用する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバー構築、ネットワーク構築実習が行える
教科書	セキュリティ技術の教科書 (iTEC) 情報セキュリティマネジメント試験によく出る問題集(技術評論社)
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報セキュリティとサイバーセキュリティ 2 インターネット技術の基礎(1) 3 セキュリティに対する脅威(1) 4 セキュリティに対する脅威(2) 5 暗号技術・認証技術・PKI(1) 6 通信の制御とサーバー攻撃対策技術(1) 7 通信の制御とサーバー攻撃対策技術(2) 8 Webシステムのセキュリティ(1) 9 メールシステムのセキュリティ(1) 10 メールシステムのセキュリティ(1) 11 DNSシステムのセキュリティ 12 セキュアプロトコル(1) 13 セキュアプロトコル(2) 14 システムセキュリティ(2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-34
授業科目	プログラム実習Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	JSP、Servletを利用したWebシステム開発を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	SP/Servlet技術を用いグループ作業でシステムを完成させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループ演習・仕様書確認 (1) 2 グループ演習・仕様書確認 (2) 3 グループ演習・仕様書確認 (3) 4 グループ演習・仕様書確認 (4) 5 グループ演習・仕様書確認 (5) 6 実技試験 (1) 7 グループ演習・フロントエンド実装 (1) 8 グループ演習・フロントエンド実装 (2) 9 グループ演習・フロントエンド実装 (3) 10 グループ演習・フロントエンド実装 (4) 11 グループ演習・フロントエンド実装 (5) 12 グループ演習・フロントエンド実装 (6) 13 グループ演習・フロントエンド実装 (7) 14 グループ演習・フロントエンド実装 (8) 15 グループ演習・フロントエンド実装 (9) 16 グループ演習・フロントエンド実装 (10) 17 実技試験 (2) 18 グループ演習・サーバーサイド実装 (1) 19 グループ演習・サーバーサイド実装 (2) 20 グループ演習・サーバーサイド実装 (3) 21 グループ演習・サーバーサイド実装 (4) 22 グループ演習・サーバーサイド実装 (5) 23 グループ演習・サーバーサイド実装 (6) 24 グループ演習・サーバーサイド実装 (7) 25 グループ演習・サーバーサイド実装 (8) 26 グループ演習・サーバーサイド実装 (9) 27 グループ演習・サーバーサイド実装 (10) 28 実技試験 (3) 29 グループ演習・データベース実装 (1) 30 グループ演習・データベース実装 (2) 31 グループ演習・データベース実装 (3) 32 グループ演習・データベース実装 (4) 33 グループ演習・データベース実装 (5) 34 グループ演習・データベース実装 (6) 35 グループ演習・データベース実装 (7) 36 グループ演習・データベース実装 (8) 37 グループ演習・データベース実装 (9) 38 グループ演習・データベース実装 (10)

	39 実技試験 (4) 40 グループ演習・システム結合 (1) 41 グループ演習・システム結合 (2) 42 グループ演習・システム結合 (3) 43 グループ演習・システム結合 (4) 44 グループ演習・システム結合 (5) 45 実技試験 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-35
授業科目	オフィスソフト実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Word, Excelを活用し、各種実務で利用する応用ドキュメントの作成方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	オフィスドキュメント間の連携機能を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成と管理 (1) 2 文章の作成と管理 (2) 3 文章の作成と管理 (3) 4 表作成の基本操作 (1) 5 表作成の基本操作 (2) 6 表作成の基本操作 (3) 7 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) 8 表、画像、図形を使った文書の作成 (2) 9 表、画像、図形を使った文書の作成 (3) 10 見やすく使いやすい表にする編集操作 (1) 11 見やすく使いやすい表にする編集操作 (2) 12 見やすく使いやすい表にする編集操作 (3) 13 見やすく使いやすい表にする編集操作 (4) 14 見やすく使いやすい表にする編集操作 (5) 15 見やすく使いやすい表にする編集操作 (6) 16 文書の作成と管理 (1) 17 文書の作成と管理 (2) 18 文書の作成と管理 (3) 19 数式・関数を活用した集計表の作成 (1) 20 数式・関数を活用した集計表の作成 (2) 21 数式・関数を活用した集計表の作成 (3) 22 ワークシート間の集計 (1) 23 ワークシート間の集計 (2) 24 ワークシート間の集計 (3) 25 グラフの基本 (1) 26 グラフの基本 (2) 27 グラフの基本 (3) 28 目的に応じたグラフの作成と編集 (1) 29 目的に応じたグラフの作成と編集 (2) 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-36
授業科目	プロダクトデザイン実習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	システムプロダクトのユーザインタフェースを作成する実習を通して、IoTシステム開発の基本設計を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	GUIをはじめ音声や各種センサーを用いたIoTインターフェース設計の基礎を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アプリケーションのデザイン研究概要 2 iPhoneとandroidの違い (1) 3 iPhoneとandroidの違い (2) 4 iPhoneとandroidの違い (3) 5 iPhoneとandroidの違い (4) 6 iPhoneとandroidの違い (5) 7 iPhoneとandroidの違い (6) 8 iPhoneとandroidの違い (7) 9 iPhoneとandroidの違い (8) 10 実技試験 (1) 11 アプリケーションの企画 (1) 12 アプリケーションの企画 (2) 13 アプリケーションの企画 (3) 14 アプリケーションの企画 (4) 15 アプリケーションの企画 (5) 16 アプリケーションの企画 (6) 17 アプリケーションの企画 (7) 18 アプリケーションの企画 (8) 19 アプリケーションの企画 (9) 20 実技試験 (1) 21 アプリケーションの設計 (1) 22 アプリケーションの設計 (2) 23 アプリケーションの設計 (3) 24 アプリケーションの設計 (4) 25 アプリケーションの設計 (5) 26 アプリケーションの設計 (6) 27 アプリケーションの設計 (7) 28 アプリケーションの設計 (8) 29 アプリケーションの設計 (9) 30 成果物発表
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-37
授業科目	販売事務管理
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	営業販売活動に必要な、在庫管理や売上管理、衛生管理などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	小売業に必要な法令知識や管理方法の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 オリエンテーション 売上事務の流れ(1) 2 売上事務の流れ(2) 納品書の作成と売上計上(1) 3 納品書の作成と売上計上(2) 請求書の発行と代金回収管理(1) 4 請求書の発行と代金回収管理(2) 請求書の発行と代金回収管理(3) 5 請求書の発行と代金回収管理(4) 請求書の発行と代金回収管理(5) 6 複数の取引先との取引(1) 複数の取引先との取引(2) 7 複数の取引先との取引(3) 複数の取引先との取引(4) 8 複数の取引先との取引(5) 仕入事務の流れ(1) 9 仕入事務の流れ(2) 仕入管理の記帳(1) 10 仕入管理の記帳(2) 仕入管理の記帳(3) 11 仕入代金の支払いと買掛金管理(1) 12 仕入代金の支払いと買掛金管理(2) 13 仕入代金の支払いと買掛金管理(3) 復習問題(1) 14 復習問題(2) 復習問題(3) 15 復習問題(4) 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																													
科目番号	2-38																																													
授業科目	ビジネス教養																																													
実務家教員																																														
学部・学科	情報システム学科																																													
履修年次	2年次																																													
開講学期	後期																																													
科目区分	選択必修																																													
授業方法	講義																																													
授業時間	30時間																																													
単位数	1																																													
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)																																													
授業概要	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。企業人として最低限、身に付けていなければならない立ち振舞いなどを学ぶ																																													
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																													
達成目標	面接や会議に参加する際のコミュニケーションマナーを身に付ける																																													
教科書	オリジナルテキスト																																													
特記																																														
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>敬語の遣い方 (1)</td> <td>敬語の遣い方 (2)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>敬語の遣い方 (3)</td> <td>敬語の遣い方 (4)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>敬語の遣い方 (5)</td> <td>敬語の遣い方 (6)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ビジネスマナー (1)</td> <td>ビジネスマナー (2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ビジネスマナー (3)</td> <td>ビジネスマナー (4)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ビジネスマナー (5)</td> <td>ビジネスマナー (6)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>コミュニケーション (1)</td> <td>コミュニケーション (2)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>コミュニケーション (3)</td> <td>コミュニケーション (4)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>自己表現 (1)</td> <td>自己表現 (2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自己表現 (3)</td> <td>自己表現 (4)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>一般常識支援 (1)</td> <td>一般常識支援 (2)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>一般常識支援 (3)</td> <td>一般常識支援 (4)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>一般常識支援 (5)</td> <td>一般常識支援 (6)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>就職面接質疑応答対策 (1)</td> <td>就職面接質疑応答対策 (2)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>就職面接質疑応答対策 (3)</td> <td>就職面接質疑応答対策 (4)</td> </tr> </table>	1	敬語の遣い方 (1)	敬語の遣い方 (2)	2	敬語の遣い方 (3)	敬語の遣い方 (4)	3	敬語の遣い方 (5)	敬語の遣い方 (6)	4	ビジネスマナー (1)	ビジネスマナー (2)	5	ビジネスマナー (3)	ビジネスマナー (4)	6	ビジネスマナー (5)	ビジネスマナー (6)	7	コミュニケーション (1)	コミュニケーション (2)	8	コミュニケーション (3)	コミュニケーション (4)	9	自己表現 (1)	自己表現 (2)	10	自己表現 (3)	自己表現 (4)	11	一般常識支援 (1)	一般常識支援 (2)	12	一般常識支援 (3)	一般常識支援 (4)	13	一般常識支援 (5)	一般常識支援 (6)	14	就職面接質疑応答対策 (1)	就職面接質疑応答対策 (2)	15	就職面接質疑応答対策 (3)	就職面接質疑応答対策 (4)
1	敬語の遣い方 (1)	敬語の遣い方 (2)																																												
2	敬語の遣い方 (3)	敬語の遣い方 (4)																																												
3	敬語の遣い方 (5)	敬語の遣い方 (6)																																												
4	ビジネスマナー (1)	ビジネスマナー (2)																																												
5	ビジネスマナー (3)	ビジネスマナー (4)																																												
6	ビジネスマナー (5)	ビジネスマナー (6)																																												
7	コミュニケーション (1)	コミュニケーション (2)																																												
8	コミュニケーション (3)	コミュニケーション (4)																																												
9	自己表現 (1)	自己表現 (2)																																												
10	自己表現 (3)	自己表現 (4)																																												
11	一般常識支援 (1)	一般常識支援 (2)																																												
12	一般常識支援 (3)	一般常識支援 (4)																																												
13	一般常識支援 (5)	一般常識支援 (6)																																												
14	就職面接質疑応答対策 (1)	就職面接質疑応答対策 (2)																																												
15	就職面接質疑応答対策 (3)	就職面接質疑応答対策 (4)																																												
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況																																													
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする																																													

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-39
授業科目	マナー基礎知識
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。企業人として、最低限身に付けていなければならない立ち振舞いなどの知識を学ぶ
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	状況に応じた電話応対を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 挨拶(言葉遣い)の必要性 3 基本的な言葉遣い(1) 4 基本的な言葉遣い(2) 5 クッション言葉(1) 6 クッション言葉(2) 7 状況に応じた言葉遣い(1) 8 状況に応じた言葉遣い(2) 9 笑顔(1) 10 笑顔(2) 11 基本的な電話応対(1) 12 基本的な電話応対(2) 13 かけ方の基本(1) 14 かけ方の基本(2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-40
授業科目	オフィスE x c e l 活用
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	演習を通じ実務に役立つ複雑な関数の操作などを学び、エクセルの活用方法を身に付けることを目的とする
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ビジネスでExcelを利用する差によく利用する関数やデータ操作を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 データベース機能の利用 並べ替え等の基本操作を確認 2 ワークシート間の集計 問題演習(1) 3 問題演習(2) 問題演習(3) 4 数式・関数を活用した集計表の作成 VLOOKUP関数 5 給与計算問題(1) 給与計算問題(2) 6 給与計算問題(3) 問題演習(4) 7 問題演習(5) 問題演習(6) 8 実技試験(1) 9 問題演習(7) 問題演習(8) 10 問題演習(9) ピボットテーブル 11 ビジネス問題(1) 問題演習(10) 12 問題演習(11) 問題演習(12) 13 ビジネス問題(2) ビジネス問題(3) 14 ビジネス問題(4) ビジネス問題(5) 15 実技試験(2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	2-41	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員		
学部・学科	情報システム学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間	
単位数	1	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。連携企業からの指示に基づき、各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの基礎知識の理解と事例研究を行う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 オリエンテーション	マーケティングと顧客満足 (1)
	2 マーケティングと顧客満足 (2)	マーケティングと顧客満足 (3)
	3 実技試験 (1)	実技試験 (2)
	4 会社の目的とは (1)	会社の目的とは (2)
	5 会社の目的とは (3)	会社の目的とは (4)
	6 会社の目的とは (5)	会社の目的とは (6)
	7 会社の目的とは (7)	実技試験 (1)
	8 実技試験 (2)	SSにおけるマーケティング (1)
	9 SSにおけるマーケティング (2)	SSにおけるマーケティング (3)
	10 SSにおけるマーケティング (4)	SSにおけるマーケティング (5)
	11 実技試験 (1)	様々なマーケティング (1)
	12 様々なマーケティング (2)	様々なマーケティング (3)
	13 プレ卒業研究 (1)	プレ卒業研究 (2)
	14 プレ卒業研究 (3)	プレ卒業研究 (4)
	15 実技試験 (1)	実技試験 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-42
授業科目	ファイナンシャルプランナー 3 級
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	ファイナンシャルプランナー検定の問題演習を通じてライフプランニング、資金計画、タックスプランニングなどを総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ファイナンシャルプランナー 3 級検定合格程度の知識習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 FPの役割 教育資金と住宅取得資金 2 ローンに関する基礎知識 教育資金のための借入金 3 住宅取得資金のための借入金 住宅ローンの返済計画 4 健康保険・国民健康保険 後期高齢者医療制度 5 退職後の医療保険制度・介護保険 労働者災害補償保険(労災保険) 6 公的年金制度の歩み・国民年金 厚生年金保険・老後の生活資金 7 老齢基礎年金 8 障害基礎年金 9 遺族基礎年金 10 確定拠出年金(DC)・国民年金基金 キャッシュフロー表の知識 11 個人バランスシートの知識 経済活動・景気の判断指標・景気対策 12 金利変動のメカニズム 金融商品の分類基準 13 預貯金の種類 債券の概要・発行条件 14 債券の分類基準・利付債の利回り 債券価格の変動要因 15 個人向け国債・債券のリスク 株式の概要 16 株式市場全体の株価指標 個別銘柄の投資指標 17 株式の取引 投資信託(契約型)の概要 18 投資信託に関わる費用 投資信託の分類 19 公社債投資信託・不動産投資信託 株式投資信託・投資信託の情報開示 20 外貨預金・為替相場・為替リスク 先物取引・オプション契約 21 期待収益率と投資上のリスク 金融商品のリスク・リスクの軽減 22 相関関数とポートフォリオ効果 預貯金の課税関係・債券の課税関係 23 株式の課税関係・投資信託の課税関係 外貨建て金融商品の課税関係 24 預金保険制度 預金保険制度以外の保護制度 25 金融商品販売法・消費者契約法 金融商品取引法 26 税金の分類・税金計算の基礎 所得税の基本原則 27 計算体系・所得税の納付方法 利子所得・配当所得 28 不動産所得・事業所得 給与所得・退職所得 29 山林所得・譲渡所得 一時所得・雑所得 30 損益通算・純損失の金額 上場株式等の譲渡損失の繰越控除 31 雑損控除・医療費控除 社会保険料控除・小規模企業共済等掛金控除 32 生命保険料控除・地震保険料控除 配偶者控除・配偶者特別控除 33 扶養控除・基礎控除 配当控除・住宅借入金等特別控除 34 確定申告 個人住民税・個人事業税 35 不動産の見方① 不動産の見方② 36 宅地建物取引業 37 不動産に係る税金① 不動産に係る税金②

	<p>38 不動産の有効活用 相続の定義・相続分 39 遺産分割・遺言 贈与と法律 40 贈与税の納税義務者・贈与税の申告と納付 41 贈与税の計算 相続と税金 42 財産の評価（不動産） 財産の評価（金融資産） 43 相続対策 総合問題演習（1） 44 総合問題演習（2） 総合問題演習（3） 45 総合問題演習（4） 総合問題演習（4）</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-43
授業科目	金融アドバイザー
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	保険商品の特徴や投資において目的に応じた手法などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	金融商品の活用の仕方を身に付ける。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 リスクマネジメント 2 わが国の保険制度 (1) 3 わが国の保険制度 (2) 4 わが国の保険制度 (3) 5 生命保険の仕組み (1) 6 生命保険の仕組み (2) 7 生命保険の契約 8 保険料の払い込み (1) 9 保険料の払い込み (2) 10 保険料の払い込み (3) 11 契約の継続 (1) 12 契約の継続 (2) 13 契約転換制度 14 契約者貸付 (1) 15 契約者貸付 (2) 16 生命保険の分類 (1) 17 生命保険の分類 (2) 18 保障重視の保険 (1) 19 保障重視の保険 (2) 20 保障と貯蓄を組み合わせた保険 (1) 21 保障と貯蓄を組み合わせた保険 (2) 22 貯蓄重視の保健 (1) 23 貯蓄重視の保健 (2) 24 貯蓄重視の保健 (3) 25 特約の種類と内容 (1) 26 特約の種類と内容 (2) 27 特約の種類と内容 (3) 28 特約の種類と内容 (4) 29 保険料の経理処理 30 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-44
授業科目	パソコン実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	操作のスピードや正確性を向上させるトレーニングを行い、Word実技能力向上を目的とする
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	ビジネス文書および社内でするポスターなどを作成するスキルを習得
教科書	Word2013クイックマスター (基本編) (ウイネット)Word文書処理技能認定試験3級問題集 (サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会)
特記	
授業計画	1 基本操作編 (1) 基本操作編 (2) 2 練習問題 (1) 文章の入力と編集の基本操作 (1) 3 文章の入力と編集の基本操作 (2) 文章の入力と編集の基本操作 (3) 4 練習問題 (2) 文章の編集 (1) 5 文章の編集 (2) 文章の編集 (3) 6 練習問題 (3) 文章の印刷 7 文章の作成 (1) 文章の作成 (2) 8 文章の作成 (3) 練習問題 (4) 9 表を使った文書の作成 (1) 表を使った文書の作成 (2) 10 表を使った文書の作成 (3) 練習問題 (5) 11 図形や画像を使った文書の作成 (1) 12 図形や画像を使った文書の作成 (2) 総合学習問題 (1) 13 総合学習問題 (2) 総合学習問題 (3) 14 練習問題 (6) 復習 (1) 練習問題 (7) 復習 (2) 15 練習問題 (8) 復習 (3) 練習問題 (9) 復習 (4) 16 3級練習問題1 (1) 3級練習問題1 (2) 17 3級練習問題2 (1) 3級練習問題2 (2) 18 3級練習問題3 (1) 3級練習問題3 (2) 19 模擬試験 解き直し 20 3級模擬試験1 (1) 3級模擬試験1 (2) 21 解き直し 3級模擬試験2 (1) 22 3級模擬試験2 (2) 解き直し 23 3級模擬試験3 (1) 3級模擬試験3 (2) 24 解き直し 3級模擬試験4 (1) 25 3級模擬試験4 (2) 解き直し 26 3級模擬試験5 (1) 3級模擬試験5 (2) 27 解き直し 3級模擬試験6 (1) 28 3級模擬試験6 (2) 解き直し 29 3級模擬試験7 (1) 3級模擬試験7 (2) 30 解き直し 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-45
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	操作のスピードや正確性を向上させるトレーニングを行い、Excel実技能力向上を目的とする
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	Excelを利用し表やグラフ、図形などを利用した文書の作成スキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理 (1) 2 文書の作成と管理 (2) 3 文書の作成と管理 (3) 4 文書の作成と管理 (4) 5 文書の作成と管理 (5) 6 データベース機能の利用 (1) 7 データベース機能の利用 (2) 8 データベース機能の利用 (3) 9 データベース機能の利用 (4) 10 データベース機能の利用 (5) 11 データの抽出 (1) 12 データの抽出 (2) 13 データの抽出 (3) 14 データの抽出 (4) 15 データの抽出 (5) 16 ピボットテーブル (1) 17 ピボットテーブル (2) 18 ピボットテーブル (3) 19 ピボットテーブル (4) 20 ピボットテーブル (5) 21 マクロによる作業の自動化 (1) 22 マクロによる作業の自動化 (2) 23 マクロによる作業の自動化 (3) 24 マクロによる作業の自動化 (4) 25 マクロによる作業の自動化 (5) 26 演習問題 (1) 27 演習問題 (2) 28 演習問題 (3) 29 演習問題 (4) 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-46
授業科目	総合演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	自らテーマを決めて問題解決のための知識習得とアウトプットの演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	課題の発見と解決手法を提案できるスキルを習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事研究・グループ討議Ⅰ(1) 2 時事研究・グループ討議Ⅰ(2) 3 時事研究・グループ討議Ⅰ(3) 4 時事研究・グループ討議Ⅰ(4) 5 時事研究・グループ討議Ⅰ(5) 6 時事研究・グループ討議Ⅰ(6) 7 時事研究・グループ討議Ⅰ(7) 8 時事研究・グループ討議Ⅰ(8) 9 時事研究・グループ討議Ⅰ(9) 10 時事研究・グループ討議Ⅰ(10) 11 時事研究・グループ討議Ⅰ(11) 12 時事研究・グループ討議Ⅰ(12) 13 時事研究・グループ討議Ⅰ(13) 14 発表(1) 15 発表(2) 16 時事研究・グループ討議Ⅱ(1) 17 時事研究・グループ討議Ⅱ(2) 18 時事研究・グループ討議Ⅱ(3) 19 時事研究・グループ討議Ⅱ(4) 20 時事研究・グループ討議Ⅱ(5) 21 時事研究・グループ討議Ⅱ(6) 22 時事研究・グループ討議Ⅱ(7) 23 時事研究・グループ討議Ⅱ(8) 24 時事研究・グループ討議Ⅱ(9) 25 時事研究・グループ討議Ⅱ(10) 26 時事研究・グループ討議Ⅱ(11) 27 時事研究・グループ討議Ⅱ(12) 28 時事研究・グループ討議Ⅱ(13) 29 発表(3) 30 発表(4) 31 時事研究・グループ討議Ⅲ(1) 32 時事研究・グループ討議Ⅲ(2) 33 時事研究・グループ討議Ⅲ(3) 34 時事研究・グループ討議Ⅲ(4) 35 時事研究・グループ討議Ⅲ(5) 36 時事研究・グループ討議Ⅲ(6) 37 時事研究・グループ討議Ⅲ(7) 38 時事研究・グループ討議Ⅲ(8)

	<p>39 時事研究・グループ討議Ⅲ (9)</p> <p>40 時事研究・グループ討議Ⅲ (1 0)</p> <p>41 時事研究・グループ討議Ⅲ (1 1)</p> <p>42 時事研究・グループ討議Ⅲ (1 2)</p> <p>43 時事研究・グループ討議Ⅲ (1 3)</p> <p>44 発表 (5)</p> <p>45 発表 (6)</p> <p>46 時事研究・グループ討議Ⅳ (1)</p> <p>47 時事研究・グループ討議Ⅳ (2)</p> <p>48 時事研究・グループ討議Ⅳ (3)</p> <p>49 時事研究・グループ討議Ⅳ (4)</p> <p>50 時事研究・グループ討議Ⅳ (5)</p> <p>51 時事研究・グループ討議Ⅳ (6)</p> <p>52 時事研究・グループ討議Ⅳ (7)</p> <p>53 時事研究・グループ討議Ⅳ (8)</p> <p>54 時事研究・グループ討議Ⅳ (9)</p> <p>55 時事研究・グループ討議Ⅳ (1 0)</p> <p>56 時事研究・グループ討議Ⅳ (1 1)</p> <p>57 時事研究・グループ討議Ⅳ (1 2)</p> <p>58 時事研究・グループ討議Ⅳ (1 3)</p> <p>59 発表 (7)</p> <p>60 発表 (8)</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-47
授業科目	オフィス活用
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネスで活用できる操作能力を身に付けることを目的とする。ビジネス文書作成等、より実務に役立つ能力を身に付ける
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	Excelを使い、販売管理や給与計算で利用する関数などの機能を実践できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 集計表の作成 2 作業グループ化による計算 3 オートフィル、シートのコピー、3D参照 4 問題演習(1) (集計表) 5 売上明細表の作成 6 集計データからのグラフ作成 7 実技試験(1) 8 給与計算表(データ)の作成 9 出勤日数、勤務時間の計算 10 金種計算表(INT関数) 11 見積書(VLOOKUP関数) 12 見積書(関数の修正、IF関数) 13 見積書(有効期限の設定 まとめ) 14 問題演習(2) (総復習) 15 実技試験(2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-48
授業科目	オフィス基礎
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PC操作の基本およびWordの基本操作を身に付けるための実践的なトレーニングを実施する
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	PCの起動からソフトやインターネットの利用、印刷などの基本操作を身につけたうえで、Wordを使い基本的なビジネス文書の作成を行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Wordの構成要素 2 文書の作成と管理 3 一般的なビジネス文書の作成 4 問題演習(1) 5 文書の作成(記録や報告) 6 文書の作成(表で項目や数値を整理) 7 問題演習(2) 8 実技試験 9 図表、グラフの作成(1) 10 図表、グラフの作成(2) 11 図表、グラフの作成(3) 12 ビジネスメールの定型 13 ビジネスメール作成上のポイント 14 ビジネスでのインターネット利用 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	2-49	
授業科目	接客応対マナー	
実務家教員		
学部・学科	情報システム学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
単位数	1	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	販売職における基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。最低限、身に付けていなければならない立ち振舞いなどのトレーニングを行う	
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	店内接客および営業職におけるマナーを身に付ける。接客用語、立ち居振舞い、アポイントメントの取り方のスキルアップを図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 オリエンテーション 2 キャラクターを演じる 3 接客用語(1) 4 接客用語(3) 5 店内接客の基本(2) 6 状況別の店内接客 7 店内接客 待機姿勢 8 店内接客の練習(2) 9 店内接客の練習(4) 10 実技試験(2) 11 訪問の流れ 12 訪問のマナー 13 電話でのアポイントメント 14 アポイントメントの練習(2) 15 実技試験	販売接客の心得 お客様の心理を理解しよう 接客用語(2) 店内接客の基本(1) 店内接客の基本(3) 電話での問い合わせ 店内接客の練習(1) 店内接客の練習(3) 実技試験(1) 営業職の仕事 基本フレーズ アポイントメントを取るメリット アポイントメントの練習(1) アポイントメントの練習(3)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	2-50	
授業科目	接遇マナー実践	
実務家教員		
学部・学科	情報システム学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
単位数	1	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。受付応対を始めとした接遇に関する実践的なトレーニングを行う	
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内における基本的なマナーを身に付。受付応対などに対応できる実践的な訓練でスキルアップを図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方 4 お茶の出しかた 5 お茶の出しかた 練習 6 お見送り 7 後片付け 8 待遇の流れ 練習 (1) 9 待遇の流れ 練習 (2) 10 接遇マナー 11 接遇マナー 練習 (1) 12 接遇マナー 練習 (2) 13 接遇マナー 練習 (3) 14 接遇マナー 練習 (4) 15 実技試験 	
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-51
授業科目	経理事務総合
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	経理職に求められる専門的で、実践的な知識を身に付けることを目的とする。実務で要求される伝票処理などの知識について総合的に学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	授業内で作成する各種書類の記入や申請の手順を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経理・総務の年間カリキュラム 小切手、手形の実務上のポイント 2 入出金伝票と現金出納帳 当座預金出納帳と手形記入帳 3 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理 4 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務(1) 5 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務(2) 所得税の基礎知識 6 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎) 7 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用) 8 個人住民税の徴収及び納付事務 印紙税の基礎知識 9 交際費、福利厚生費及び会議費等の区分(基礎) 受取利息の会計処理 10 消費税法の概要 消費税の会計処理 11 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 12 決算の流れ 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 13 年次決算と月次決算 決算対策・その1 (法人の利益の圧縮) 14 決算対策・その2 (法人の損失の圧縮) 15 経営分析の基礎知識 所得税の基礎知識 16 計算体系及び計算方法 各種所得及び課税標準 17 所得控除額 課税所得金額及び納付税額 18 年末調整の対象者 年末調整の時期 19 年末調整の流れ 年税額の算定方法 20 所得税徴収高計算書(納付書)の記載方法 21 法定調書の流れ 22 提出期限について 消費税等と提出範囲の金額基準及び記載方法 23 給与所得の源泉徴収票及び給与支払報告書・法定調書合計表 24 個人住民税の基礎知識 25 特別徴収のための給与支払報告書 給与支払報告書・個人別明細書 26 給与支払報告書・総括表 労働保険の概要及び会計処理 27 労災保険料・雇用保険料の徴収事務 年度更新事務のやり方 28 労働保険概算・確定保険料申告書と会計処理 29 消費税法の概要 30 消費税と地方消費税 納税義務者 31 納税義務の免除 免税事業者と消費税の還付 32 課税区分 国内取引の課税対象要件 33 非課税取引・免税取引 基本税額計算 34 課税標準 仕入控除税額の計算体系と課税仕入れ等の税額の計算 35 個別対応方式と一括比例配分方式 申告書の書き方 36 簡易課税制度 事業区分 37 申告・納付 法人税の基礎知識

	38 法人税の計算構造 交際費等 39 受取配当等 決算調整項目と申告調整項目 40 別表四の作成手順 税率適用区分 41 法人事業税の総論 法人事業税の税額算定 42 法人事業税の徴収方法 法人事業税の具体例 43 法人住民税の基礎知識 法人住民税の税額算定 44 法人住民税の徴収方法 法人住民税の具体例 45 会計ソフト演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-52
授業科目	財務会計ソフト演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	一般的な会計ソフトの利用技術を身に付けることを目的とする。勘定奉行を利用し会計ソフトの基本構造、利用方法を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	勘定奉行を利用し会計ソフトの基本操作、業務に応じた利用方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 日常取引 振替伝票の入力操作 3 日常取引 入出金伝票の入力操作 4 日常取引 仕訳帳の入力操作 5 日常取引 売掛帳・買掛帳の入力操作 6 日常取引 現金出納帳の入力操作 7 日常取引 預金出納帳の入力操作 8 勘定科目の追加登録の仕方 9 付箋機能 10 決算手続きの操作(1) 11 決算手続きの操作(2) 12 決算書の作成(1) 13 決算書の作成(2) 14 翌期繰越処理 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-53
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 所得税の基礎知識 (1) 2 所得税の基礎知識 (2) 3 所得税の基礎知識 (3) 4 年末調整のしかた (1) 5 年末調整のしかた (2) 6 年末調整のしかた (3) 7 法定調書の流れ (1) 8 法定調書の流れ (2) 9 法定調書の流れ (3) 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出 (1) 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出 (2) 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出 (3) 13 労働保険の概要及び会計処理 (1) 14 労働保険の概要及び会計処理 (2) 15 労働保険の概要及び会計処理 (3)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-54
授業科目	オフィスワーク実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	実務で必要とされるオフィスのワーク全般を実習を通じて身に付けることを目的とする。電話応対、来客応対、伝票整理などに付き総合的に学ぶ
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	オフィスを仮定したロールプレイングにおいて、日々の業務や突発的に発生する事象への対応を修得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶 (朝・夕) 2 仕事の受け方 (1) 3 仕事の受け方 (2) 4 ロールプレイング 5 報告 (上司への報告) 6 受付応対 (1) 7 受付応対 (2) 8 報告 (来客に関する報告) 9 ロールプレイング 10 接遇 (1) 11 接遇 (2) 12 ロールプレイング 13 電話の受け方 (1) 14 電話の受け方 (2) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-55
授業科目	企業研究
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	2
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企業のビジネスモデル研究を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	企業のビジネスモデルを学び収益に関する考え方を学ぶ
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 企業のビジネスモデル (1) 2 企業のビジネスモデル (2) 3 グループによるビジネスモデルの研究 (1) 4 グループによるビジネスモデルの研究 (2) 5 グループによるビジネスモデルの研究 (3) 6 グループによるビジネスモデルの研究 (4) 7 グループによるビジネスモデルの研究 (5) 8 グループによるビジネスモデルの研究 (6) 9 グループによるビジネスモデルの研究 (7) 10 グループによるビジネスモデルの研究 (8) 11 グループによるビジネスモデルの研究 (9) 12 グループによるビジネスモデルの研究 (10) 13 グループによるビジネスモデルの研究 (11) 14 グループによるビジネスモデルの研究 (12) 15 研究結果の発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-56
授業科目	企業研究Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	2
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企業のビジネスモデル研究により新しいビジネスモデルを検討する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	企業のビジネスモデルを学び収益に関する考え方を学び、新しいビジネスモデルを創造する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 新しい企業のビジネスモデル (1) 2 新しい企業のビジネスモデル (2) 3 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (1) 4 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (2) 5 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (3) 6 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (4) 7 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (5) 8 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (6) 9 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (7) 10 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (8) 11 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (9) 12 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (10) 13 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (11) 14 グループによる新しいビジネスモデルの研究 (12) 15 研究結果の発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-57
授業科目	インターンシップ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	3
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	企業内インターンシップに向けた準備およびインターンシップの実施
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	インターンシップの目的理解と必要知識の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 インターンシップ概論 2 インターンシップに向けた企業研究 (1) 3 インターンシップに向けた企業研究 (2) 4 インターンシップに向けた企業研究 (3) 5 インターンシップに向けた企業研究 (4) 6 インターンシップに向けた企業研究 (5) 7 インターンシップに向けた企業研究 (6) 8 インターンシップに向けた企業研究 (7) 9 インターンシップに向けた企業研究 (8) 10 インターンシップに向けた企業研究 (9) 11 インターンシップに向けた業界研究 (1) 12 インターンシップに向けた業界研究 (2) 13 インターンシップに向けた業界研究 (3) 14 インターンシップに向けた業界研究 (4) 15 インターンシップに向けた業界研究 (5) 16 インターンシップに向けた業界研究 (6) 17 インターンシップに向けた業界研究 (7) 18 インターンシップに向けたグループディスカッション (1) 19 インターンシップに向けたグループディスカッション (2) 20 インターンシップに向けたグループディスカッション (3) 21 インターンシップに向けたグループディスカッション (4) 22 インターンシップに向けたグループディスカッション (5) 23 インターンシップに向けたグループディスカッション (6) 24 インターンシップに向けたグループディスカッション (7) 25 インターンシップに向けたグループディスカッション (8) 26 企業内インターンシップ (1) 27 企業内インターンシップ (2) 28 企業内インターンシップ (3) 29 企業内インターンシップ (4) 30 企業内インターンシップ (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-58
授業科目	インターンシップⅡ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	3
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	2回目企業内インターンシップに向けた準備およびインターンシップの実施
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	インターンシップの目的理解と必要知識の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	インターンシップを経験した学生を対象
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターンシップ前回振り返り 2 インターンシップに向けた企業研究 (1) 3 インターンシップに向けた企業研究 (2) 4 インターンシップに向けた企業研究 (3) 5 インターンシップに向けた企業研究 (4) 6 インターンシップに向けた企業研究 (5) 7 インターンシップに向けた企業研究 (6) 8 インターンシップに向けた企業研究 (7) 9 インターンシップに向けた企業研究 (8) 10 インターンシップに向けた企業研究 (9) 11 インターンシップに向けた業界研究 (1) 12 インターンシップに向けた業界研究 (2) 13 インターンシップに向けた業界研究 (3) 14 インターンシップに向けた業界研究 (4) 15 インターンシップに向けた業界研究 (5) 16 インターンシップに向けた業界研究 (6) 17 インターンシップに向けた業界研究 (7) 18 インターンシップに向けたグループディスカッション (1) 19 インターンシップに向けたグループディスカッション (2) 20 インターンシップに向けたグループディスカッション (3) 21 インターンシップに向けたグループディスカッション (4) 22 インターンシップに向けたグループディスカッション (5) 23 インターンシップに向けたグループディスカッション (6) 24 インターンシップに向けたグループディスカッション (7) 25 インターンシップに向けたグループディスカッション (8) 26 企業内インターンシップⅡ (1) 27 企業内インターンシップⅡ (2) 28 企業内インターンシップⅡ (3) 29 企業内インターンシップⅡ (4) 30 企業内インターンシップⅡ (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-59
授業科目	インターンシップⅢ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	120時間
単位数	5
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	3回目企業内インターンシップに向けた準備およびインターンシップの実施
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	インターンシップの目的理解と必要知識の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	インターンシップⅡを経験した学生を対象
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターンシップ前回振り返り 2 インターンシップに向けた企業研究 (1) 3 インターンシップに向けた企業研究 (2) 4 インターンシップに向けた企業研究 (3) 5 インターンシップに向けた企業研究 (4) 6 インターンシップに向けた企業研究 (5) 7 インターンシップに向けた企業研究 (6) 8 インターンシップに向けた企業研究 (7) 9 インターンシップに向けた企業研究 (8) 10 インターンシップに向けた企業研究 (9) 11 インターンシップに向けた業界研究 (1) 12 インターンシップに向けた業界研究 (2) 13 インターンシップに向けた業界研究 (3) 14 インターンシップに向けた業界研究 (4) 15 インターンシップに向けた業界研究 (5) 16 インターンシップに向けた業界研究 (6) 17 インターンシップに向けた業界研究 (7) 18 インターンシップに向けたグループディスカッション (1) 19 インターンシップに向けたグループディスカッション (2) 20 インターンシップに向けたグループディスカッション (3) 21 インターンシップに向けたグループディスカッション (4) 22 インターンシップに向けたグループディスカッション (5) 23 インターンシップに向けたグループディスカッション (6) 24 インターンシップに向けたグループディスカッション (7) 25 インターンシップに向けたグループディスカッション (8) 26 企業内インターンシップⅢ (1) 27 企業内インターンシップⅢ (2) 28 企業内インターンシップⅢ (3) 29 企業内インターンシップⅢ (4) 30 企業内インターンシップⅢ (5) 31 企業内インターンシップⅢ (6) 32 企業内インターンシップⅢ (7) 33 企業内インターンシップⅢ (8) 34 企業内インターンシップⅢ (9) 35 企業内インターンシップⅢ (10) 36 企業内インターンシップⅢ (11) 37 企業内インターンシップⅢ (12) 38 企業内インターンシップⅢ (13)

	39 企業内インターンシップⅢ (14)
	40 企業内インターンシップⅢ (15)
	41 企業内インターンシップⅢ (16)
	42 企業内インターンシップⅢ (17)
	43 企業内インターンシップⅢ (18)
	44 企業内インターンシップⅢ (19)
	45 企業内インターンシップⅢ (20)
	46 企業内インターンシップⅢ (21)
	47 企業内インターンシップⅢ (22)
	48 企業内インターンシップⅢ (23)
	49 企業内インターンシップⅢ (24)
	50 企業内インターンシップⅢ (25)
	51 企業内インターンシップⅢ (26)
	52 企業内インターンシップⅢ (27)
	53 企業内インターンシップⅢ (28)
	54 企業内インターンシップⅢ (29)
	55 企業内インターンシップⅢ (30)
	56 企業内インターンシップⅢ (31)
	57 企業内インターンシップⅢ (32)
	58 企業内インターンシップⅢ (33)
	59 企業内インターンシップⅢ (34)
	60 企業内インターンシップⅢ (35)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-60
授業科目	企業実習・就職研修
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	120時間
単位数	5
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	企業における必要な知識と技術を習得することを目的とする。社会に出た時に必要となるマナーのあり方を学ぶ
授業の進め方	ガイダンスと実習、報告と振り返りを実施する
達成目標	実際のビジネス現場での体験を通じて、自分の適性を確認できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 第一回ガイダンス 2 第二回ガイダンス 3 インターンシップ課題作成 4 企業実習1 (1) 5 企業実習1 (2) 6 企業実習1 (3) 7 企業実習1 (4) 8 企業実習1 (5) 9 企業実習1 (6) 10 企業実習1 (7) 11 企業実習1 (8) 12 企業実習1 (9) 13 企業実習1 (10) 14 インターンシップ報告1 (1) 15 企業実習1 (11) 16 企業実習1 (12) 17 企業実習1 (13) 18 企業実習1 (14) 19 企業実習1 (15) 20 企業実習1 (16) 21 企業実習1 (17) 22 企業実習1 (18) 23 企業実習1 (19) 24 企業実習1 (20) 25 インターンシップ報告1 (2) 26 企業実習1 (21) 27 企業実習1 (22) 28 企業実習1 (23) 29 企業実習1 (24) 30 企業実習1 (25) 31 企業実習1 (26) 32 企業実習1 (27) 33 企業実習1 (28) 34 企業実習1 (29) 35 企業実習1 (30) 36 インターンシップ報告1 (3) 37 企業実習1 (31)

	38 企業実習 1 (3 2) 39 企業実習 1 (3 3) 40 企業実習 1 (3 4) 41 企業実習 1 (3 5) 42 企業実習 1 (3 6) 43 企業実習 1 (3 7) 44 企業実習 1 (3 8) 45 企業実習 1 (3 9) 46 企業実習 1 (4 0) 47 インターンシップ報告 1 (4) 48 企業実習 1 (4 1) 49 企業実習 1 (4 2) 50 企業実習 1 (4 3) 51 企業実習 1 (4 4) 52 企業実習 1 (4 5) 53 企業実習 1 (4 6) 54 企業実習 1 (4 7) 55 企業実習 1 (4 8) 56 企業実習 1 (4 9) 57 企業実習 1 (5 0) 58 企業実習 1 (5 1) 59 企業実習 1 (5 2) 60 インターンシップ報告 1 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-61
授業科目	企業実習・就職研修Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	120時間
単位数	5
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	企業における必要な知識と技術を習得することを目的とする。社会に出た時に必要となるマナーのあり方をより学ぶ
授業の進め方	ガイダンスと実習、報告と振り返りを実施する
達成目標	実際のビジネス現場での体験を通じて、自分の適性を確認できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 第一回ガイダンス 2 第二回ガイダンス 3 インターンシップ課題作成 4 企業実習Ⅱ (1) 5 企業実習Ⅱ (2) 6 企業実習Ⅱ (3) 7 企業実習Ⅱ (4) 8 企業実習Ⅱ (5) 9 企業実習Ⅱ (6) 10 企業実習Ⅱ (7) 11 企業実習Ⅱ (8) 12 企業実習Ⅱ (9) 13 企業実習Ⅱ (10) 14 インターンシップ報告Ⅱ (1) 15 企業実習Ⅱ (11) 16 企業実習Ⅱ (12) 17 企業実習Ⅱ (13) 18 企業実習Ⅱ (14) 19 企業実習Ⅱ (15) 20 企業実習Ⅱ (16) 21 企業実習Ⅱ (17) 22 企業実習Ⅱ (18) 23 企業実習Ⅱ (19) 24 企業実習Ⅱ (20) 25 インターンシップ報告Ⅱ (2) 26 企業実習Ⅱ (21) 27 企業実習Ⅱ (22) 28 企業実習Ⅱ (23) 29 企業実習Ⅱ (24) 30 企業実習Ⅱ (25) 31 企業実習Ⅱ (26) 32 企業実習Ⅱ (27) 33 企業実習Ⅱ (28) 34 企業実習Ⅱ (29) 35 企業実習Ⅱ (30) 36 インターンシップ報告Ⅱ (3) 37 企業実習Ⅱ (31)

	38 企業実習Ⅱ (32) 39 企業実習Ⅱ (33) 40 企業実習Ⅱ (34) 41 企業実習Ⅱ (35) 42 企業実習Ⅱ (36) 43 企業実習Ⅱ (37) 44 企業実習Ⅱ (38) 45 企業実習Ⅱ (39) 46 企業実習Ⅱ (40) 47 インターンシップ報告Ⅱ (4) 48 企業実習Ⅱ (41) 49 企業実習Ⅱ (42) 50 企業実習Ⅱ (43) 51 企業実習Ⅱ (44) 52 企業実習Ⅱ (45) 53 企業実習Ⅱ (46) 54 企業実習Ⅱ (47) 55 企業実習Ⅱ (48) 56 企業実習Ⅱ (49) 57 企業実習Ⅱ (50) 58 企業実習Ⅱ (51) 59 企業実習Ⅱ (52) 60 インターンシップ報告Ⅱ (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-62
授業科目	企業実習・就職研修Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	120時間
単位数	5
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	企業における必要な知識と技術を習得することを目的とする。社会に出た時に必要となるマナーのあり方の実践を学ぶ
授業の進め方	ガイダンスと実習、報告と振り返りを実施する
達成目標	実際のビジネス現場での体験を通じて、自分の適性を確認できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 第一回ガイダンス 2 第二回ガイダンス 3 インターンシップ課題作成 4 企業実習Ⅲ (1) 5 企業実習Ⅲ (2) 6 企業実習Ⅲ (3) 7 企業実習Ⅲ (4) 8 企業実習Ⅲ (5) 9 企業実習Ⅲ (6) 10 企業実習Ⅲ (7) 11 企業実習Ⅲ (8) 12 企業実習Ⅲ (9) 13 企業実習Ⅲ (10) 14 インターンシップ報告Ⅲ (1) 15 企業実習Ⅲ (11) 16 企業実習Ⅲ (12) 17 企業実習Ⅲ (13) 18 企業実習Ⅲ (14) 19 企業実習Ⅲ (15) 20 企業実習Ⅲ (16) 21 企業実習Ⅲ (17) 22 企業実習Ⅲ (18) 23 企業実習Ⅲ (19) 24 企業実習Ⅲ (20) 25 インターンシップ報告Ⅲ (2) 26 企業実習Ⅲ (21) 27 企業実習Ⅲ (22) 28 企業実習Ⅲ (23) 29 企業実習Ⅲ (24) 30 企業実習Ⅲ (25) 31 企業実習Ⅲ (26) 32 企業実習Ⅲ (27) 33 企業実習Ⅲ (28) 34 企業実習Ⅲ (29) 35 企業実習Ⅲ (30) 36 インターンシップ報告Ⅲ (3) 37 企業実習Ⅲ (31)

	38 企業実習Ⅲ (32) 39 企業実習Ⅲ (33) 40 企業実習Ⅲ (34) 41 企業実習Ⅲ (35) 42 企業実習Ⅲ (36) 43 企業実習Ⅲ (37) 44 企業実習Ⅲ (38) 45 企業実習Ⅲ (39) 46 企業実習Ⅲ (40) 47 インターンシップ報告Ⅲ (4) 48 企業実習Ⅲ (41) 49 企業実習Ⅲ (42) 50 企業実習Ⅲ (43) 51 企業実習Ⅲ (44) 52 企業実習Ⅲ (45) 53 企業実習Ⅲ (46) 54 企業実習Ⅲ (47) 55 企業実習Ⅲ (48) 56 企業実習Ⅲ (49) 57 企業実習Ⅲ (50) 58 企業実習Ⅲ (51) 59 企業実習Ⅲ (52) 60 インターンシップ報告Ⅲ (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-63
授業科目	総合演習Ⅲ (計算技能)
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	電卓技能の向上を目的とする。企業内でも多く活用されている電卓のスピード、正確性を高める実技練習を行う
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識と実技スキルの定着を図る
達成目標	個人別に目標を設定しクリアを目指す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 段位 問題演習 (1) 2 段位 問題演習 (2) 3 段位 問題演習 (3) 4 段位 問題演習 (4) 5 段位 問題演習 (5) 6 段位 問題演習 (6) 7 段位 問題演習 (7) 8 段位 問題演習 (8) 9 段位 問題演習 (9) 10 段位 問題演習 (10) 11 段位 問題演習 (11) 12 段位 問題演習 (12) 13 段位 問題演習 (13) 14 段位 問題演習 (14) 15 段位 問題演習 (15) 16 段位 問題演習 (16) 17 段位 問題演習 (17) 18 段位 問題演習 (18) 19 段位 問題演習 (19) 20 段位 問題演習 (20) 21 段位 問題演習 (21) 22 段位 問題演習 (22) 23 段位 問題演習 (23) 24 段位 問題演習 (24) 25 段位 問題演習 (25) 26 段位 問題演習 (26) 27 段位 問題演習 (27) 28 段位 問題演習 (28) 29 段位 問題演習 (29) 30 段位 問題演習 (30) 31 段位 問題演習 (31) 32 段位 問題演習 (32) 33 段位 問題演習 (33) 34 段位 問題演習 (34) 35 段位 問題演習 (35) 36 段位 問題演習 (36) 37 段位 問題演習 (37)

	38 段位 問題演習 (38)
	39 段位 問題演習 (39)
	40 段位 問題演習 (40)
	41 段位 問題演習 (41)
	42 段位 問題演習 (42)
	43 段位 問題演習 (43)
	44 段位 問題演習 (44)
	45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする